

ダイハツ純正

NMCK-W66D AV Navigation System



発売元

ダイハツ工業株式会社

NMCK-W66D (08545-K9107)

AV Navigation System
取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

ダイハツ工業株式会社



目次

はじめに

安全上のご注意(必ずお守りください)	5
使用上のご注意	8
本書の読みかた	10
本書の構成	10

基本操作

各部の名称とはたらき	11
基本操作	12
電源を入れる / 切る	12
電源オン	12
電源オフ	12
フロントパネルの角度を調整する	12
視野角を調整する	12
画面 / リストの操作	13
画面表示のオン / オフ	14
画面表示をオフにする	14
画面表示をオンにする	14
画面の明るさを調整する	14
案内音量を調整する	14
メニュー画面の構成	15
マイメニューを使う	16
ショートカットボタンに機能を登録する	16

ナビゲーション

地図の見かたと操作	17
現在地図画面の見かた	17
地図の縮尺を変える	18
市街地図について	18
地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える	18
地図を 2 画面表示する	19
地図をスクロールする	19
スクロール地図画面の見かた	20
マップクリップを利用する	21

ナビゲーションの流れ	22
自宅を登録する／自宅に帰る	23
自宅を登録する	23
自宅を変更する	23
自宅へ帰る	23
行き先を探す	24
目的地検索画面で探す	24
名称から探す	25
エリアを指定して検索する	26
ジャンルで絞り込む	27
ジャンルから探す	28
登録地点から探す	29
住所から探す	29
履歴から探す	30
履歴を削除する	30
電話番号・郵便番号・マップコードで探す	31
まっふるコードで探す	31
ルートの探索と案内	32
ルートの探索と案内を開始する	32
目的地に設定してルートを探索する	32
ルートの探索条件を選択して案内を開始する	32
VICS によるルート探索	33
提携駐車場を行き先に設定する	34
複数の到着地点情報があったとき	34
ルート案内画面について	35
一般道路でのルート案内	35
高速道路でのルート案内	36
音声案内について	37
案内ポイントでの割り込み表示	38
交差点案内図の表示	38
高速道分岐イラストの表示	38
ETC レーン表示	39
ルートを再探索する	39
ルートを編集する	40
経由地を追加する	40
目的地・経由地の順番を入れ替える	40
目的地・経由地を削除する	41

利用するインターチェンジを変更する	42	USB 機器 /SD カードのファイルを再生する	58
変更したインターチェンジを元に戻す	43	USB 機器を接続する	58
走行中のルートを表示する	43	USB 機器を取り外す	58
ルート全体を表示する	43	SD カードを入れる / 出す	58
目的地を表示する	44	SD カードを取り出す	58
ルート案内を終了する	44	画面の見かたと操作	59
ルートから外れたときは	44		
地点を登録する	45	iPod を再生する	61
地点を登録する	45	iPod を接続する	61
登録した地点をリストで見る	45	画面の見かたと操作	61
登録地点を編集する	46	曲を再生する	61
グループを編集する	47	ビデオを再生する	62
登録地点を削除する	48	リストから曲またはビデオを選択する	63
文字入力のしかた	49		
文字の種類を切り替える	49		
文字を入力する	49		
オーディオ・ビジュアル	50	情報・設定	64
AV の基本操作	50	VICS 情報を見る	65
ソースを切り替える	50	VICS 情報とは	65
AV 画面を表示する	50	VICS 情報の内容と種類	65
画質を調整する	51	VICS 情報の提供方法	65
映像の画面表示サイズを変更する	51	VICS 情報利用上のご注意	65
ラジオを聞く	52	地図に表示される VICS 情報	65
画面の見かたと操作	52	地図表示型（レベル 3）情報の表示	65
プリセットモードを切り替える	52	緊急情報の割り込み表示	66
エリアモードの放送局をリストから選局する	53	地図上の VICS 情報を見る	67
放送局を登録（プリセット）する	53	VICS 図形 / 文字情報を見る	67
交通情報を受信する	53	VICS 局の選局方法を切り替える	68
ワンセグを視聴する	54	自動選局に設定する	68
画面の見かたと操作	54	手動で選局する	68
放送局を登録（プリセット）する	55	VICS 情報の表示設定をする	69
CD・オーディオファイルディスクを再生する	56		
ディスクを入れる / 出す	56	ECO 情報を確認する	70
ディスクを取り出す	56	ECO 情報を見る	70
ディスクを取り出せないときは	56	詳細情報を見る	70
画面の見かたと操作	57	ECO レシオについて	71

ナビゲーションの設定をする	72	バックモニターの設定をする	90
地図表示を設定する	74	ダイハツ純正 バックモニターを接続しているとき	90
自車の現在位置を修正する	74	ダイハツ純正 3モードカメラを接続しているとき	90
走行軌跡の表示を設定する	75	画質を調整する	91
走行軌跡を消去する	75		
地図に表示するランドマークを設定する	75		
サウンドの設定をする	76	ステアリングスイッチを使う	92
スピーカー構成を設定する	77	ステアリングスイッチの設定について	92
スピーカーを個別に設定する	77	ステアリングスイッチの設定をする	92
リスニングポジションを設定する	77	独自に機能を割り当てる	93
DTAを微調整する	78	ステアリングスイッチの割り当てを変更 / 初期化する	94
プリセットイコライザーを設定する	78		
ユーザーイコライザーを設定する	79		
調整したイコライザーカーブを保存する	80		
ソースの音量レベルを設定する	80		
システムの設定をする	81	付録	
システムを初期化する	82	自車位置の測位精度について	95
暗証番号を設定する	83	地図記号の凡例	97
暗証番号を変更する	83	ソフトウェア使用許諾契約書	98
暗証番号を解除する	83	VICSについて	100
接続状態を確認する	84	メディアおよびファイルについて	102
バージョンを確認する	85	故障かなと思ったら	106
オプション		商標	112
ETC車載器を使う	86	主な仕様	114
ETC情報について	86	保証とアフターサービス	115
ETCの音声出力を設定する	86	索引	116
料金表示を設定する	87		
ETC履歴 / 車載器情報を見る	87		
バックモニターを使う	88		
使用上のご注意	88		
バックモニターの接続を設定する	88		
バックモニターの映像を表示する	89		
ダイハツ純正 バックモニターを接続しているとき	89		
ダイハツ純正 3モードカメラを接続しているとき	89		

安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告

本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない



火災や故障の原因になります。DC24V 車(大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など)で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。



作業前に必ずバッテリーの \ominus 端子を外す

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（サイドブレーキ）コードは正しく配線する

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意



自動車のコンソールに取り付ける

本機の使用中または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。



直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠ 警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

使用方法について

⚠ 警告



機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどがあると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかかるないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。

⚠ 注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電の原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中ビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.106) を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。

- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もしも、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中に、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。

- 細街路を走行中の現在地図画面
- 市街地図を表示しているとき
- マップマッチングしていないとき
- 駐停車中

*: 細街路とは、道幅 5.5m 未満の道路のことをいいます。

フロントパネルの安全装置について

フロントパネルを閉じるときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。

【△】(オープンキー) を押すとフロントパネルが閉じます。

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、【△】(オープンキー) でフロントパネル操作メニューを表示して再度操作してください。

フロントパネルオープン時動作について

ソースがTUNERのときにフロントパネルを開くとTUNERソースの音声は消音されます。パネルを閉じると消音は自動で解除され音声が聴こえるようになります。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

個人情報の消去は、システムを初期化する（→P.82）/ 暗証番号を解除する（→P.83）で行なうことができます。未消去のデータの流出による損害等について、当社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などを希望のお客様は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

<問い合わせ先>

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-977-846

（ディーラーオプション専用窓口）

FAX

045-450-2308

住所

〒221-0022 神奈川県横浜市
神奈川区守屋町3-12

受付時間

月曜～金曜 9:30～18:00
(土曜、日曜、祝日および当社
休日は休ませていただきます)

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに

安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(→ P.5)

基本操作

各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法を説明しています。(→ P.11)

ナビゲーション

地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション(以降、「ナビ」)の操作方法について説明しています。(→ P.17)

オーディオ・ビジュアル

オーディオ・ビジュアル(以降、「AV」)および音楽の操作方法について説明しています。(→ P.50)

情報・設定

VICS情報、ECO情報などの情報について、および本機のシステム設定、サウンド設定などについて説明しています。(→ P.64)

オプション

ETC車載器やワイドモニターなどの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。(→ P.86)

付録

関連する資料やトラブルシューティングなどを掲載しています。
(→ P.95)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。

- ボタンの表記について

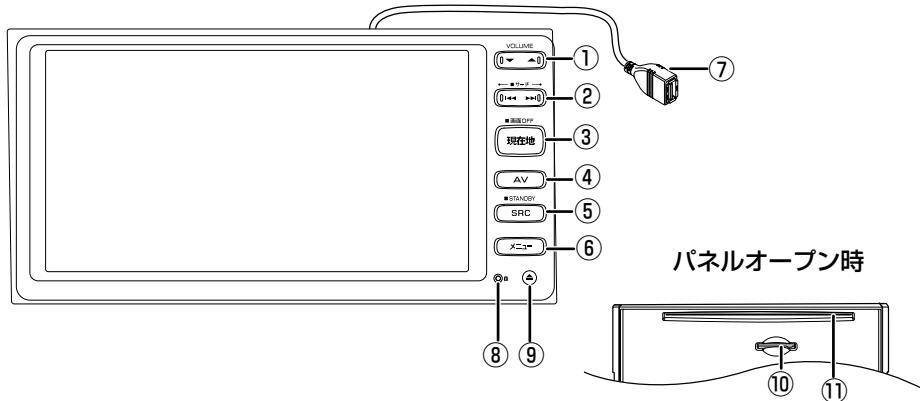
【 】は画面に表示される操作ボタンを表します。

例：【情報・設定】は **情報・設定** を表します。

【 】は本機のフロントパネルのキーを表します。

例：【メニュー】は **(メニュー)** キーを表します。

各部の名称と機能



① 音量キー

AV ソースの音量を調整 (0 ~ 40) します。

- 【▲】を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- 案内音量は画面コントロールメニューで調整します。([P.14](#))

② スキップ / サーチキー

- ラジオ、ワンセグ：
放送局を切り替えます。
押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽 / ビデオ再生：
前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
押し続けると、早送り / 早戻しします。

③ 【現在地】

- 現在地画面を表示します。([P.17](#))
- 押し続けると、画面の表示をオフにします。

④ 【AV】

- 選択しているソースの AV 画面を表示します。([P.50](#))

⑤ 【SRC】

- ソース切替画面を表示します。([P.50](#))
- 押し続けるとソースが STANDBY になります。もう一度押し続けるともとのソースに戻ります。

⑥ 【メニュー】

メニュー画面を表示します。

([P.15](#))

- 押し続けると、画面コントロールメニューを表示します。([P.14](#))

⑦ USB 端子

USB 機器 ([P.58](#)) または iPod/iPhone ([P.61](#)) を接続します。

⑧ セキュリティインジケーター

セキュリティインジケーターを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。
([P.82](#))

⑨ 【△】(オープンキー)

フロントパネルの角度調整やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

⑩ SD カード挿入口

SD カードを挿入する場所です。
また、地図更新データ用 SD カードを挿入します。
挿入方法については 58 ページをご覧ください。

⑪ ディスク挿入口

ディスクを挿入する場所です。挿入方法については 56 ページをご覧ください。

基本操作

電源を入れる / 切る

電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。

フロントパネルの角度を調整する

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいようにフロントパネルの角度と画面の明るさを調整できます。角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。

1 [▲] (オープンキー) を押す

2 角度 ([0] ~ [6]) にタッチする



- フロントパネルの角度が“0”以外に設定されても、電源オフ時には“0”的位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

視野角を調整する

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合は、視野角([-3] ~ [0])にタッチして調整します。マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかかるて見えます。



画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

[戻る] にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



■ リストの操作

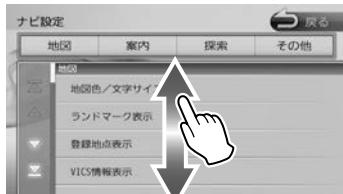
リストは上下にスクロールして見たい項目を表示させます。

リストのスクロールには、次の2つの方法があります。

- スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする

ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。

フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。



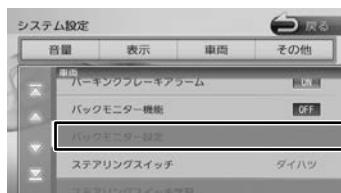
- リストをページ送りする



送りたい方向の [▲][▼] にタッチします。
[◀][▶] にタッチするとリストの最初 / 最後に表示します。

■ 項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。



■ 設定画面の操作

設定画面は、設定項目の種類ごとにまとめてリストで表示されます。

リストをスクロールして目的の設定の種類①を探し、項目にタッチして決定します。

②にタッチするとそれぞれの設定項目の先頭を表示します。

①設定項目の種類



本書では、リストをスクロールして設定の種類を探し、項目をタッチする操作を以下のように記載しています。

例：リストをスクロールして「表示」を探し、[映像画面 / 消灯画面の時計表示] をタッチする場合

“[表示] の [映像画面 / 消灯画面の時計表示] にタッチする”

■ シークバー



シークバー

AV画面でシークバーが表示されているときは、タッチすると再生位置を移動することができます。

画面表示のオン / オフ

本機を使用しないときなどに、画面の表示を消します。

画面表示をオフにする

1 【現在地】を押し続ける

画面表示が消えます。

画面表示をオンにする

1 画面表示のオフ中に画面にタッチする

画面表示をオフにする前の画面に戻ります。



- 画面表示のオフは、画面コントロールメニュー（【メニュー】を押し続けて表示）の【画面オフ】からもできます。
- 画面表示のオフ中に本機の電源をオフにすると、次に電源をオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- バックモニターが接続されている場合は、画面表示のオフ中にシフトレバーを「R」に入れると、リアビューカメラの画面が表示されます。

関連キーワード

● 画面の時計表示
画面オフのときに時計を表示しないようにすることもできます。（→ P.81）

画面の明るさを調整する

本機の画面の明るさ（-5～+5）を調整します。

1 【メニュー】を押し続ける

画面コントロールメニューが表示されます。

2 【明るさ】の [] または [+] にタッチする



- 画面の明るさは、システム設定から調整することもできます。（→ P.81）

案内音量を調整する

ルート案内などの案内音量（1～20）を調整します。

1 【メニュー】を押し続ける

画面コントロールメニューが表示されます。

2 【案内音量】の [] または [] にタッチする



- 案内音量は、ナビ設定から調整することもできます。（→ P.73）

メニュー画面の構成

メニュー画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。メニュー画面はフロントパネルの【メニュー】を押すと、いつでも表示できます。



① ソース切替

ソース切替画面が表示されます。
(→ P.50)
ソース（音源）の切り替えができます。
ソース切替画面はメニュー画面を、右にフリックしても表示できます。

② 情報・設定

情報・設定画面が表示されます。(→ P.64)
VICS情報、接続情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

③ マイメニュー

マイメニュー画面が表示されます。
(→ P.16)
よく使う設定やメニューを登録して呼び出すことができます。

④ ルート

ルート画面が表示されます。(→ P.40)
探索したルートを再探索したり、経由地を変更するなど、ルートの編集ができます。

⑤ 目的地検索

目的地検索画面が表示されます。(→ P.24)
行き先や立ち寄る場所など、目的地をいろいろな方法で検索できます。
目的地検索画面はメニュー画面を、左にフリックしても表示できます。

⑥ 現在地

現在地図画面が表示されます。(→ P.17)

⑦ AV

選択しているソースのAV画面が表示されます。(→ P.50)

マイメニューを使う

よく使う機能やメニューを登録して呼び出すことができます。また、特別メモリ地点として登録した地点を呼び出します。

1 [メニュー] を押す

メニュー画面が表示されます。

2 [マイメニュー] にタッチする



マイメニュー画面が表示されます。

3 呼び出したいショートカットボタンまたは特別メモリ地点にタッチする



ショートカット

登録してある機能を実行します。

特別メモリ地点

グループの「特別メモリ地点1」～「特別メモリ地点5」に設定した登録地点を呼び出します。
(→ P.45)

[編集]

ショートカットボタンに登録してある機能の変更や登録していないショートカットボタンに機能を登録できます。

ショートカットボタンに機能を登録する

本機の機能をショートカットボタンに登録します。

1 [編集] にタッチする



2 登録するショートカットボタンにタッチする



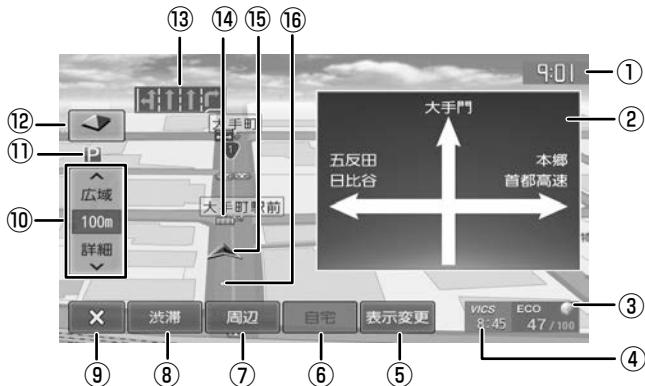
3 登録する機能にタッチする



地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

本機のメニュー画面で【現在地】にタッチする、またはフロントパネルの【現在地】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



① 時計

現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

② 方面看板

方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。タッチすると表示を消します。

③ エコドライブ評価

④ VICS 情報提供時刻

VICS 情報の提供時刻が表示されます。

⑤ 【表示変更】：地図の表示方法を設定します。

⑥ 【自宅】：自宅へ帰るルートを探索します。

⑦ 【周辺】：周辺の施設を検索します。

⑧ 【渋滞】：VICS 情報画面を表示します。

⑨ 【X】：⑤～⑧を消します。消すと【表示】になります。【表示】にタッチすると⑤～⑧を表示します。

⑩ 【広域】 / 【詳細】

タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。

⑪ ランドマーク

目印となる施設がマークで地図上に表示されます。タッチすると施設名、距離、方向が表示されます。ランドマークについては 75 ページをご覧ください。

⑫ ▶ (コンパスボタン)

地図の方位が表示されます。（→ P.18）タッチするたびに、地図の向きを切り替えることができます。

⑬ レーン情報

次の交差点のレーン情報が表示されます。

⑭ 案内地点

：方面看板の案内地点が表示されます。
：レーン情報の案内地点が表示されます。

⑮ 自車マーク

⑯ 走行軌跡

これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示を消すことや、データを消去することもできます。（→ P.75）



- 現在地図画面で【現在地】を押すと画面 上部に地点情報を表示します。

地図の縮尺を変える

1 [広域] または [詳細] にタッチする



それぞれのボタンにタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

市街地図について

市街地図は、100m 以下で表示されます。「100m 縮尺での市街地図表示」を「OFF」にすると、50m 以下で表示できます。設定については 72 ページをご覧ください。



- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面（→ P.20）で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。

地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える

地図の表示方法（向き、2D/3D 表示）を切り替えることができます。

1 地図画面のコンパスボタンにタッチする

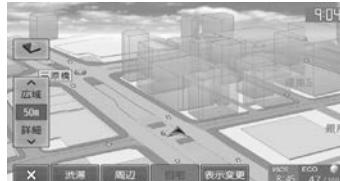
タッチするごとに地図の表示方法が切り替わります。



(3D ビュー)

進行方向が画面の上方向になる向きで、3D 地図が表示されます。

市街地図では、スケールを 50m 以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル 3D マップが表示されます。



(2D ノースアップ)

地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

(2D ヘディングアップ)

進行方向が画面の上方向になるように表示されます。



- 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。（→ P.72）
- 地域によっては、バーチャル 3D マップを表示できない場所があります。

地図を2画面表示する

現在地図画面の上に小画面の地図またはAV簡易画面を表示することができます。

1 [表示変更]にタッチする



2 表示したい方法にタッチする



[地図1画面] :

現在地図画面(手順1の画面)を表示します。

[地図2画面] :

現在地図画面の上に小画面の地図を表示します。



[地図&AV簡易画面] :

現在地図画面と選択しているソースのAV簡易画面を表示します。

AV簡易画面にタッチするとAV画面を表示します。



[走行軌跡の表示]、[ランドマーク表示]、[VICS情報表示]はナビ設定(→P.72)の各項目のショートカットです。

[ルート表示]、[目的地表示]はルート画面(→P.43)の各項目のショートカットです。

[ハイウェイモード]は36ページをご覧ください。



- 地図2画面表示中も、背景の現在地図画面は、地図の向き、縮尺、2D/3D表示の変更やスクロールなどの操作ができます。
- 地図2画面表示中の小画面の地図は、スクロールできません。

地図をスクロールする

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。



■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。



■ ポイントスクロール

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。



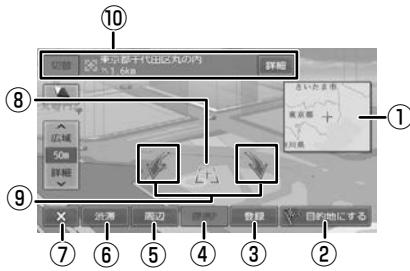
スクロールした後に【現在地】を押すと、現在地図画面に戻ります。

[つづく→](#)



- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。
- 地図の向きが3Dビューのときにポイントスクロールをすると、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

スクロール地図画面の見かた



① フライビューマップ

スクロールした地点を広域地図で表示します。

② 【目的地にする】：この地点を目的地に設定します。

③ 【登録】：この地点を登録します。

④ 【提携 P】：

カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

⑤ 【周辺】：周辺の施設を検索します。

⑥ 【渋滞】：VICS情報画面を表示します。

(→ P.67)

⑦ 【X】：②～⑥を消します。消すと【表示】になります。【表示】にタッチすると②～⑥を表示します。

⑧ (カーソル)

地図画面の中心点に表示されます。

⑨ 地図回転ボタン

3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

⑩ 地点情報

カーソルの位置の地点情報（住所や名称など）と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

【切替】：

同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

【詳細】：

地点詳細情報画面を表示します。



携帯電話またはスマートフォンでQRコードを読み取ると、MapFanのサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。詳しくは、21ページをご覧ください。



- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 詳細情報がすべて表示されていないときは画面をスクロールすると表示できます。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

マップクリップを利用する

マップクリップは、QR コード(2 次元バーコード)に変換した地点情報を、携帯電話またはスマートフォンで読み取って地図を表示するサービスです。

- ・「マップクリップ」は、ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話またはスマートフォンで利用できます。
- ・携帯電話の機種によっては、QR コードの読み取りに対応していないものもあります。また、スマートフォンの場合 QR コードを読み取るアプリケーションが必要です。
- ・携帯電話での QR コードの読み取り操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ・読み取った地図 1 画面のみの閲覧は無料です。スマートフォンの場合、1 画面の閲覧と地図の縮尺変更まで無料です。(通信料、パケット料はお客様負担となります。)
- ・ケータイ MapFan またはプレミアム MapFan の会員の方は、地図の縮尺変更(スマートフォンは可能)や移動など、1 画面を超える範囲を見ることができます。
また、表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することもできます。
- ・「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

ここまで手順 地点を検索する

1 地点詳細情報画面(→ P.20)を表示する



2 QR コードを、携帯電話またはスマートフォンで読み取る



（地点地図）：

カーソルのある地点の位置を QR コードで表示します。

（地点地図+現在地）：

カーソルのある地点と現在地の位置を QR コードで表示します。

（地点地図+目的地）：

カーソルのある地点と目的地の位置を QR コードで表示します。

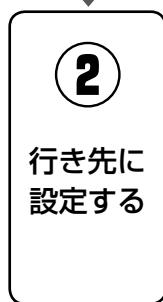
QR コードを読み取ると MapFan のサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

ナビゲーションの流れ



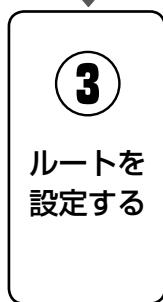
目的地検索画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(\rightarrow P.24)



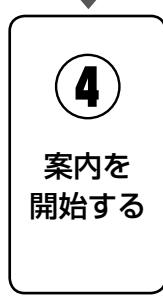
【目的地にする】にタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。(\rightarrow P.32)



ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(\rightarrow P.40)



【案内開始】にタッチする

ルート案内が始まります。



地図画面から

地図をスクロールして行き先を探して(\rightarrow P.20)、【目的地にする】にタッチします。



- 経由地は、目的地を設定した後に設定することができます。(\rightarrow P.40)

【推奨】 / 【距離】 / 【高速】 / 【一般】 /

【高速 / 距離】 :

指定した条件でルートを探索します。
(\rightarrow P.32)

【ルート情報】 :

選択したルートの情報を確認します。

【入汐橋】 / 【横浜駅西口】 :

利用するインターチェンジを変更します。(\rightarrow P.42)

有料道路を使用するときに表示されます。

ルート案内を開始した後は

● 経由地の設定・入れ替え

途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。
(\rightarrow P.40)

● 案内終了

ルート案内を中止します。(\rightarrow P.44)

自宅を登録する／自宅に帰る

自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

1 自宅の場所にカーソルを合わせて、 【登録】にタッチする



2 [自宅]にタッチする



3 [決定]にタッチする



この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は49ページをご覧ください。

- ・名称の編集は、後からでも編集することができます。(→ P.46)
- ・自宅は名称と電話番号を編集することができます。46ページをご覧ください。

自宅を変更する

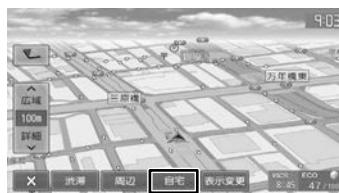
すでに自宅が登録されているときに、新しく自宅を登録すると、確認メッセージが表示されます。

[はい] にタッチすると自宅が変更されます。
先に自宅として登録されていた地点は、[未分類] グループに変更されます。

自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

1 現在地図画面で [自宅] にタッチする



確認メッセージが表示されます。

2 [はい] にタッチする

3 探索条件にタッチして [案内開始] にタッチする



自宅へのルート案内が開始されます。

(→ P.32)

- ・目的地検索画面の [自宅] にタッチして、ルート案内を開始することもできます。(→ P.24)

行き先を探す

目的地検索画面で探す

本機の目的地検索画面に表示されるさまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りたい場所（経由地）を探すことができます。

1 【メニュー】を押す

2 [目的地検索] にタッチする



3 目的地を検索する



名称：

施設の名称などで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。
(→ P.25)

ジャンル：

食事や買い物など、ジャンルで行き先を探します。(→ P.28)

登録地点：

本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。(→ P.29)

自宅：

現在地から自宅に帰るルートを探して、ルート案内を開始します。
あらかじめ自宅の登録が必要です。
(→ P.23)

住所：

住所から目的地を探します。(→ P.29)

履歴：

今までにルートを探索した行き先から探します。(→ P.30)

番号：

電話番号、郵便番号、マップコードを入力して行き先を探します。(→ P.31)

まっぷるコード：

まっぷるコードで行き先を探します。
(→ P.31)

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 [名称] にタッチする



2 施設の名前を入力して、[検索] にタッチする



- 施設名の入力時に、「」（濁点）や「」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が5件以下になると、自動的に手順3の画面が表示されます。

3 行き先にタッチする



[エリア指定] :

さらに指定したエリアで検索します。
（→ P.26）

[ジャンルで絞り込む] :

さらにジャンルで絞り込みます。
（→ P.27）

[名称順] :

検索結果を名称順で表示します。

[距離順] :

検索結果を距離順で表示します。

4 [このピンを選択] にタッチする



[リスト] :

リストから施設を選ぶことができます。

【目的地にする】にタッチすると、ルートの探索が始まります。（→ P.32）



- ピンは手順3で指定した行き先を含めて50件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、[前へ]または[次へ]にタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして「この地点を選択」にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

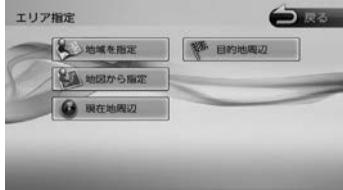
エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 検索結果画面（25 ページの手順 3）で【エリア指定】にタッチする



2 指定したいエリアにタッチする



【地域を指定】：

住所を入力して検索します。（→ P.29）

【地図から指定】：

地図をスクロールして場所を指定します。

【現在地周辺】 / 【目的地周辺】 /

【経由地（1～4）周辺】：

指定した地点の周辺地図が表示されます。

3 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順 4 に進んでください。



【リスト】：

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして【この地点を選択】にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 【このピンを選択】にタッチする



【目的地にする】にタッチすると、ルートの探索が始まります。（→ P.32）



- 手順 2 の【目的地周辺】 / 【経由地（1～4）周辺】は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

1 検索結果画面（25ページの手順3）で「ジャンルで絞り込む」にタッチする

2 ジャンルにタッチする



さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

[全て検索] :

選択ジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

3 目的の施設を選ぶ



[エリア指定] :

さらに指定したエリアで検索します。
（→ P.26）

[名称順] :

検索結果を名称順で表示します。

[距離順] :

検索結果を距離順で表示します。

4 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順5に進んでください。



[リスト] :

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして「この地点を選択」にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 [このピンを選択] にタッチする



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。（→ P.32）

ジャンルから探す

食事や買い物など、目的のジャンルから行き先を探します。

1 [ジャンル] にタッチする



2 ジャンルにタッチする

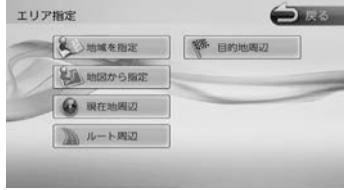


さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

[全て検索] :

選択したジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

3 指定したいエリアにタッチする



[地域を指定] :

住所を入力して検索します。（→ P.29）

[地図から指定] :

地図をスクロールして場所を指定します。

[ルート周辺] :

ルート前方にある施設を表示します。

[現在地周辺] / [目的地周辺] /

[経由地（1～4）周辺] :

指定した地点の周辺地図が表示されます。

4 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順5に進んでください。



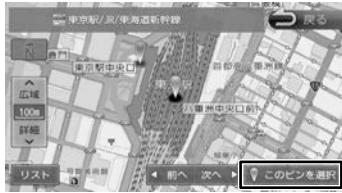
[リスト] :

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして「この地点を選択」にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 [このピンを選択] にタッチする



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。（→ P.32）



- 手順3の「ルート周辺」は現在地周辺の半径10km以内でルート前方両側にある施設を検索します。（最大50件）
その他は指定した地点を中心とした半径50km以内で検索します。（最大50件）
- 「ルート周辺」検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。
- 手順3の「目的地周辺」 / 「ルート周辺」 / 「経由地（1～4）周辺」は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。

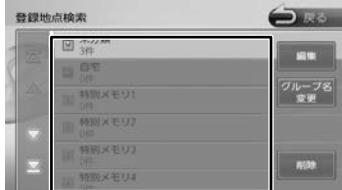


- 事前に本機に地点を登録してください。地点の登録方法は45ページをご覧ください。
- 登録地点の編集については、46ページをご覧ください。

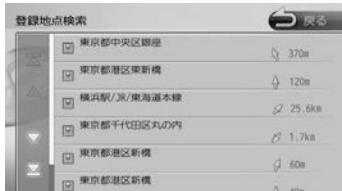
1 [登録地点] にタッチする



2 グループにタッチする



3 登録地点にタッチする



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始めります。(→ P.32)

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 [住所] にタッチする



2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ



リストの最初に現在地周辺の都道府県が4つまで表示されています。



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始めります。(→ P.32)

- [番地を入力] にタッチすると番地の入力画面が表示され、番地（丁目、番、号など）をテンキーで入力できます。
- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、"-"でないで一度に入力することができます。
- [あ] ~ [わ] にタッチすると都道府県名、市区町村名、地名を頭出しします。
- [代表地点] にタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

履歴から探す

今までにルートを探索した行き先から探します。

1 [履歴] にタッチする



2 検索履歴にタッチする



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.32)

- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は 50 か所まで保存されます。50 か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

履歴地点を削除します。



- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面で [削除] にタッチする



2 削除する履歴地点にタッチする

複数の履歴を選択することもできます。



[全て選択] :

リスト内のすべての地点を選択します。

[全て解除] :

リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 [削除] にタッチして、[はい] にタッチする



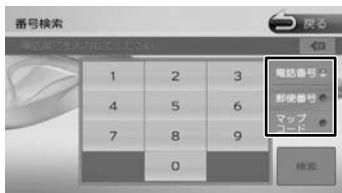
電話番号・郵便番号・マップコードで探す

電話番号、郵便番号、マップコードの番号から行き先を探します。

1 [番号] にタッチする



2 検索に使用する番号の種類にタッチする



3 番号を入力して、[検索] にタッチする



[BS] :
カーソルの前にある文字を消去します。

▼
[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.32)



- 電話番号と郵便番号のハイフンは入力しません。
- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。[検索] にタッチする必要はありません。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。

- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。

局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。付近の地図を表示します。」というメッセージが表示されます。

- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して [検索] にタッチします。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ (<http://www.e-mapcode.com/>) をご覧ください。

まっぷるコードで探す

まっぷるコードを入力して、観光地などを探します。

1 [まっぷるコード] にタッチする



2 まっぷるコードを入力して [検索] にタッチする



[BS] :
カーソルの前にある文字を消去します。

▼
[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.32)



- まっぷるコードに関する情報は、昭文社のホームページ (<http://www.mapple.co.jp/>) をご覧ください。

ルートの探索と案内

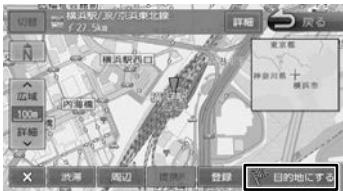
ルートの探索と案内を開始する

検索した場所を行き先（目的地）に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探索する

ここまで手順④ 行き先を検索して、地点情報画面を表示する

1 [目的地にする] にタッチする



表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。

すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。



- ルート探索時にスマートICまたはフェリーを利用するように設定することができます（→ P.73）
- [提携P] が表示されたときは 34 ページをご覧ください。
- 経由地を設定する場合は 40 ページをご覧ください。
- 「一般道に目的地（経由地）を設定します。よろしいですか？」と表示されたときは、[はい]：一般道を目的地（経由地）に設定します。
- [いいえ]：高速・有料道路を目的地（経由地）に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか？」と表示されたときは、34 ページをご覧ください。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1 ルートの探索条件にタッチする

目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後の IC 名が表示されます。



[推奨] :

本機が推奨するルートです。

[距離] :

走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

[高速] :

高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

[一般] :

一般道路を優先的に通るルートです。
一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路（有料道路）を通るルートになることがあります。

[高速 / 距離] :

高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

[5 ルート] :

すべての条件でルートを探索します。各条件のルートを比較することができます。

5 ルートを表示すると、ルートの中で工コ（燃費が経済的）なルートに（葉っぱ）アイコンが表示されます。



[入/出庫] / [出/進路案内口] :

- 有料道路を使用するときに表示されます。
- 利用するインターチェンジを変更します。
(→ P.42)

[ルート情報] :

- 選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

2 [案内開始] にタッチする



ルート案内が開始されます。(→ P.35)



- 表示される料金は、ETC 割引などの各種割引は考慮されません。
- フェリーを利用したルートを案内する場合は「所要時間」表示にフェリーアイコンが表示されます。

フェリーアイコン :

- フェリーを利用したルートを案内する場合の「料金」表示には、フェリーの使用料は含まれていません。
- スマート IC を利用したルート案内をする場合は「料金」表示にスマート IC アイコンが表示されます。

スマート IC アイコン :

- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「¥～以上」または「¥--」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

VICS によるルート探索

■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報（通行止めなど）を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。
- ルート案内中に規制のある箇所に近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

■ 渋滞考慮探索（最適時間考慮探索）

- ルート案内中に渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。（最適時間考慮探索）

提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、[提携 P] が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

1 [提携 P] にタッチする



2 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選択

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順 3 に進んでください。



[リスト] :

リストから施設を選ぶことができます。

3 [このピンを選択] にタッチする

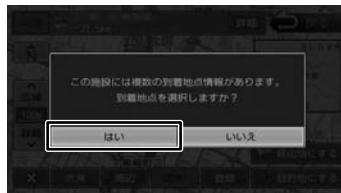


[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.32)

複数の到着地点情報があつたとき

目的地または経由地に設定した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 [はい] にタッチする



2 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選択

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。



[リスト] :

リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして [このピンを選択] にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 [このピンを選択] にタッチする



選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。(→ P.32)

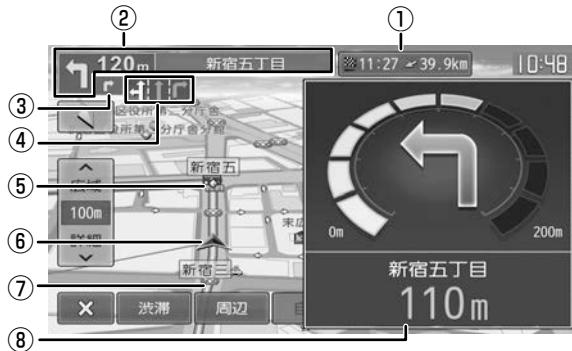
ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① 到着予想時刻と距離

対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。

タッチすると、対象の行き先が切り替わります。

② 次案内ポイント情報

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

③ 次々案内ポイント情報

さらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

④ レーン情報表示

白色矢印：案内レーン

水色矢印：推奨通過レーン

⑤ 案内ポイント

⑥ 自車位置マーク

⑦ 案内ルート

目的地または経由地までのルートです。

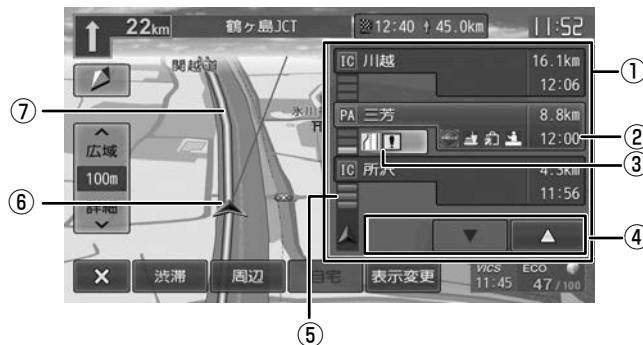
道路の種類（一般道 / 高速道路 / 細街路）によって色分けして表示されます。

⑧ 案内ポイントでの割り込み表示

(→ P.38)

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。
案内ポイントに近づくと、ここです案内または高速分岐イラストが表示されます。



- ハイウェイモード画面は、高速道路を走行中に表示されます（ルート案内中以外でも表示されます）。ただし、高速道路上によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

② 施設名称 / 施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ (IC) / ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA) の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。施設情報に表示される設備のマークは、最大 4 個です。

③ 規制情報表示

車線規制などの情報 (VICS 情報規制表示) が 3 件までマークで表示されます。
マークにタッチすると詳細情報を表示します。
情報が複数あるときはリストが表示されます。
見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

④ スクロールボタン / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。スクロールすると [現区間] ボタンが表示されます。[現区間] にタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑤ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。
橙色：混雑
赤色：渋滞

⑥ 自車マーク

⑦ 案内ルート

■ ハイウェイモード画面を閉じる

[表示変更] にタッチします。



[ハイウェイモード] にタッチしてチェックを外します。



表示させるときは、上の画面を表示して [ハイウェイモード] にタッチしてチェックを付けてください。

音声案内について

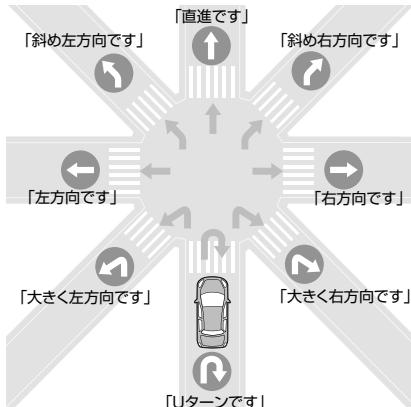
本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。



- 音声案内の前には「ジャーン」と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(→ P.73)
- 音声案内の音量調整は14ページをご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時のAV音量を設定することができます。(→ P.81)
- ルート案内ポイントの直前では「ポンポン」と音が鳴ります。

進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います(ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声出力の設定は変更することができます。(→ P.73)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行するレーンにご注意ください。
	この先、走行するレーンにご注意ください。左へお寄りください。 [*]
	この先、走行するレーンにご注意ください。右へお寄りください。 [*]

(* ルート案内時のみ)



- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

VICS渋滞/VICS車線規制の音声案内

前方にVICS渋滞情報、VICS車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います(ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声案内の出力設定はありません。

案内の種類	音声
VICS渋滞案内	およそ〇〇km/m先、(交差点名)を先頭に、〇〇km/m渋滞しています。
	およそ〇〇km/m先、(交差点名)を先頭に、渋滞しています。
	およそ〇〇km/m先、〇〇km/m渋滞しています。
	およそ〇〇km/m先、渋滞しています。
VICS車線規制	およそ〇〇km/m先、車線規制があります。
	およそ〇〇km/m先、車線規制があります。
	左へお寄りください。

案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと交差点案内図、高速道分岐イラストが割り込み表示されます。

割り込み表示は表示しないように設定することができます。(→ P.73)

割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示にタッチしてください。

消した割り込み表示は、[案内図] にタッチするともう一度表示できます。

交差点案内図の表示

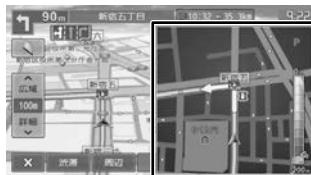
■ ここです案内表示

約 300m (高速道路は約 1.2km) 手前に近づくと表示されます。



■ 交差点拡大図

約 200m (高速道路は約 800m) 手前に近づくと表示されます。



■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。

場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。



■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



■ 出口後分岐

出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づくと表示されます。



■ 料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。



ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。

ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報がない場合があります。その場合は表示されません。



ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）を変更して、ルートを再探索します。

1 【メニュー】を押す

2 【ルート】にタッチする



3 ルート画面の【再探索】にタッチする



4 探索条件を選んで【案内開始】にタッチする



選択したルートでルート案内が開始されます。



- 乗降 IC を指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降 IC の指定を解除してください。

ルートを編集する

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

経由地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は4か所まで追加できます。



- 目的地が設定されていないときは経由地を設定できません。

ここまで手順 ➔ 行き先を検索する

1 【経由地にする】にタッチする

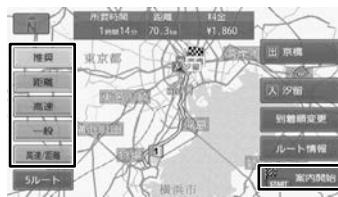


2 経由地の挿入位置を確認し、【決定】にタッチする



ルートの探索がはじまります。

3 探索条件を選んで【案内開始】にタッチする



【到着順変更】 :

到着順を編集することができます。編集操作は下の「目的地・経由地の順番を入れ替える」の手順2からの操作をご覧ください。

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

1 ルート画面の【到着順変更】にタッチする



2 順番を変更する行き先にタッチする



3 移動先の【挿入】にタッチする



4 【再探索】にタッチする



【やり直す】：

到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

5 探索条件を選んで【案内開始】にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地を削除する



- 削除した地点は元に戻せません。間違えのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

1 ルート画面の【到着順変更】にタッチする



2 削除する行き先にタッチする



3 【削除】にタッチする



選択した行き先が削除されます。

4 【再探索】にタッチする



【やり直す】：

手順 3 で削除した地点を再度表示します。

5 探索条件を選んで【案内開始】にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC (インターチェンジ) 以外の IC を利用するように指定できます。



- 経由地を設定しているときに、乗降 IC を指定しようとすると、確認メッセージが表示され、[はい] にタッチすると経由地が解除されます。

1 ルート画面の【再探索】にタッチする



2 変更したい入口または出口 IC にタッチする



3 入口または出口に指定する IC 名を地図に直接タッチして選ぶ



切替 :

タッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。



- 変更したい IC を中心とした半径 40km 以内にある IC (最大 36 件まで) を選ぶことができます。

4 [この IC に変更] にタッチする



指定した IC を通過するルートが探索されます。

5 【案内開始】にタッチする



[IC 変更を解除] :

タッチすると IC 変更を解除します。



- 手順 4 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、確認メッセージが表示されます。
- 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようとすると確認メッセージが表示され、[はい] にタッチすると乗降 IC の指定が解除されます。
- 現在地と指定した IC の位置によっては、指定した IC が入口 / 出口にならないルートを探索する場合があります。
- 指定した IC 付近で本機の電源をオフ / オンした場合、IC の指定が解除される場合があります。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 ルート画面の【再探索】にタッチする



2 [IC 変更を解除] にタッチする



変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

3 【案内開始】にタッチする



走行中のルートを表示する

現在案内のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

ルート全体を地図画面で表示します。

1 ルート画面の【ルート表示】にタッチする



[ルート情報]：ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

[デモ走行]：地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。



[×1] / [×2] / [×3]：デモ走行のスピードを変更できます。

[デモ終了]：デモ走行を終了します。



- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変えることができます。

目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

- ルート画面の【目的地表示】にタッチする



- 表示する目的地または経由地にタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。



ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

- ルート画面の【案内終了】にタッチし、【はい】にタッチする



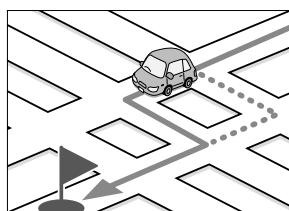
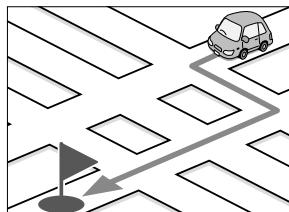
ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。



- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルートから外れたときは

案内のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。本機には300件まで地点を登録できます。

1 登録したい場所の地点情報画面を表示する

2 [登録] にタッチする



3 登録するグループにタッチする



4 [決定] にタッチする



この画面で登録する地点の名称を編集することができます。文字の入力方法は49ページをご覧ください。



- 手順3で登録先のグループを選択しなかった場合は、「未分類」グループに登録されます。
- 名称の編集は、後からでも編集することができます。(→ P.46)

関連キーワード



● 登録地点編集

登録した地点の名称、電話番号、グループなどの編集や地点の削除などの編集ができます。
(→ P.46)

登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

1 目的地検索画面の【登録地点】にタッチする



2 見たい地点情報のグループにタッチする



登録地点がリストで表示されます。

登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称、電話番号、グループ（登録先）を編集できます。

1 目的地検索画面の【登録地点】にタッチする



2 【編集】にタッチする



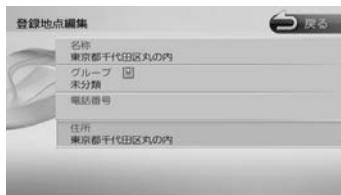
3 編集したい地点のグループにタッチする



4 編集したい地点にタッチする



5 編集したい項目にタッチして編集する



● 名称を編集する

名称欄にタッチして名称を入力して【決定】にタッチします。



● グループを変更する

グループ欄にタッチして変更したいグループにタッチします。



● 電話番号を編集する

電話番号欄にタッチして電話番号を入力して【決定】にタッチします。



- 登録地点の住所は編集できません。
- 文字の入力方法については 49 ページをご覧ください
- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「-」は省略することもできます。
- 自宅が設定されているときに、別の地点をグループ変更で自宅に設定しようとすると確認メッセージが表示されます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

グループを編集する

登録した地点のグループ（登録先）のグループ名とグループアイコンを編集できます。

- 「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点1～5」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。
- グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で48文字まで入力できます。

1 登録地点検索画面（46ページの手順2）を表示する



● グループ名を編集する

[グループ名変更] にタッチして編集したいグループにタッチします。

グループ名を編集して [決定] にタッチします。



● グループアイコンを編集する

[アイコン変更] にタッチしてアイコンを変更したいグループにタッチします。

変更したいアイコンにタッチします。



登録地点を削除する

- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えのないように、慎重に操作してください。

1 登録地点検索画面（46 ページの手順 2）を表示して【削除】にタッチする



2 削除したい地点のグループにタッチする



3 削除したい地点を選ぶ

複数の地点を選択することもできます。



[全て選択] :

リスト内のすべての地点を選択します。

[全て解除] :

リスト内のすべての地点の選択を解除します。

4 【削除】にタッチする



5 【はい】にタッチする

選択した登録地点が削除されます。

文字入力のしかた

文字の種類を切り替える

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。

1 切り替える文字の種類にタッチする



[切替] :

タッチするたびにかな(ひらがな)/カナ(カタカナ)/英数/記号に切り替わります。

[小文字] :

小文字に切り替わります。

[半角] :

半角英数文字または記号に切り替わります。

文字を入力する

キーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

1 文字を選んでタッチする



2 変換する場合は、[変換]にタッチする



[無変換] :

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする



文字の変換結果が確定されます。

4 [決定]にタッチする



文字の入力が確定されます。



- または ▶にタッチして消去したい文字の後にカーソルを移動して ◄にタッチすると文字を消すことができます。
- を押し続けると、入力した文字列が全消去されます。

AV の基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 [SRC] を押す



2 切り替えたいソースにタッチする



iPod :

iPod の曲 / ビデオファイルを再生します。
(\rightarrow P.61)

USB :

USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。(\rightarrow P.58)

SD :

SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。(\rightarrow P.58)

ワンセグ :

ワンセグ放送を受信します。(\rightarrow P.54)

TUNER :

ラジオ放送を受信します。(\rightarrow P.52)

DISC :

CD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。
(\rightarrow P.56)

STANDBY :

AV 機能をオフにします。
AV 機能をオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。



- DISC ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

AV 画面を表示する

選択しているソースの AV 画面を表示します。

1 [AV] にタッチする



AV 画面が表示されます。



メニュー画面の [AV] にタッチしても AV 画面を表示することができます。



画質を調整する

SD、USB、iPod のビデオファイル、ワンセグの映像を調整します。

- 地図画面の画質は調整できません。
- SD または USB ソースが一時停止中は調整できません。

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 【メニュー】を押し続ける



操作ボタンが表示されます。

3 ◀ / ▶ (-4 ~ 0 ~ +4) にタップして各項目を調整する



ブライトネス :

明るさを調整します。

コントラスト :

コントラストを調整(強弱)します。

色の濃さ :

色の濃淡を調整します。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

- バックモニター映像またはワンセグの映像は、画面表示サイズの変更はできません。

1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 「画質を調整する」の手順3の画面で「アスペクト」の □ / ▷ にタッチして、サイズを調整する



レギュラー :

4:3 の比率で表示します。

フル :

画面いっぱいに表示します。

オリジナル (SD、USB ソースのみ) :

映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

■ 映像サイズイメージ

	16:9 画像	4:3 画像	その他
レギュラー			
フル			
オリジナル			



- オリジナルは SD、USB ソースのみです。

ラジオを聞く

画面の見かたと操作

ここまで手順

ソースを TUNER に切り替える (→ P.50)



- ① プリセット番号
- ② 受信中の放送局
- ③ プリセットモード
- ④ ステレオ受信表示
- ⑤ 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア／お気に入り1／お気に入り2）が切り替えられます。
[FM]/[AM]	受信するバンドを切り替えます。
[交通情報]	交通情報の画面に切り替わり、交通情報を受信します。
[1] ~ [8] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
< / >	放送局を選択します。 タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します。（マニュアル選局） タッチし続けるとタッチしている間、周波数が連続して変わります。
◀◀ / ▶▶	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。（オート選局）もう一度タッチすると、オート選局を中止します。

[リスト]

プリセットモードがエリアのときに、プリセットされている放送局をリスト表示します。

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。

エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティFM局を除く）が周波数の低い順に最大8局まで自動的に登録されます。

エリアモードで選択できる放送局は、[リスト]にタッチすると表示できます。(→ P.53)

■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り1またはお気に入り2にそれぞれ8局まで登録できます。

(→ P.53)

1 [プリセット切替] にタッチする



タッチするたびに、エリア→お気に入り1→お気に入り2→エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

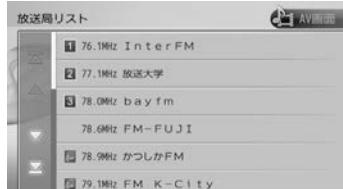
1 [プリセット切替] にタッチして、エリアモードに切り替える



2 [リスト] にタッチする



3 受信する放送局にタッチする



1 ~ 8 :

プリセットボタンにプリセットされている放送局

□ :

コミュニティFM局

- 「コミュニティFM局」とは、市町村や政令指定都市の行政区画内の一地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。（→ P.52）

2 [プリセット切替] にタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える



3 登録先のプリセットボタンを2秒以上タッチし続ける



受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1または2）で該当するプリセットボタンにタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHzまたは1629kHz）を受信します。交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

1 [交通情報] にタッチする

受信状態が良いほうが自動的に受信されます。手動で切り替えるには、[1620kHz] または [1629kHz] にタッチします。

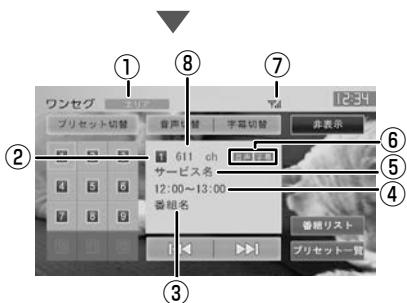
ワンセグを視聴する

画面の見かたと操作

ここまでのお手順 ➤

ソースをワンセグに切り替える (→ P.50)

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- ① プリセットモード
- ② プリセット番号
- ③ 番組名
- ④ 放送時間
- ⑤ 受信している放送局名またはサービス名
- ⑥ 音声および字幕
音声または字幕が切り替えられるときに表示されます。
- ⑦ 電波の強さ
- ⑧ チャンネル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[プリセット 切替]	プリセットモード（ホーム / お出かけ / エリア）が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」をはじめてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。
[音声切替]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
[非表示]	操作ボタンが消えます。
[1] ~ [12] (プリセット ボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えます。
◀ / ▶	前または次のプリセット局を選局します。 「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。
[番組リスト]	チャンネルの番組リストを表示します。表示されたリストにタッチすると番組の詳細情報が表示されます。
[プリセット 一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えります。



- プリセットモードがエリアの場合、場所によってはプリセットを選んでも受信できないことがあります。その場合は、プリセットモードをホームまたはお出かけに切り替えて、初期スキャンを行ってください。

放送局を登録（プリセット）する

はじめてご使用になる場合は、放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 [プリセット切替] にタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



2 [プリセット一覧] にタッチする



3 [初期スキャン] にタッチする



現在地の都道府県にタッチして「[はい]」にタッチします。

受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。



- ・【再スキャン】は初期スキャンを行ったあとで、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- ・再スキャンはすでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- ・プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

CD・オーディオファイルディスクを再生する

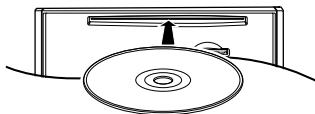
ディスクを入れる / 出す

1 [▲] (オープンキー) を押す

2 [DISC] にタッチする



3 ディスクを挿入口に入れる



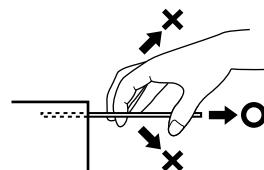
フロントパネルが自動的に閉じます。
ソースが「DISC」に切り替わります。



- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。



- ディスクがイジェクトされた後、ディスクを取り出さないと、約15秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



ディスクを取り出せないときは

1 メッセージが表示されるまで [▲] (オープンキー) を押し続ける

2 [はい] にタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

ディスクを取り出す

1 [▲] (オープンキー) を押す

2 [DISC] にタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

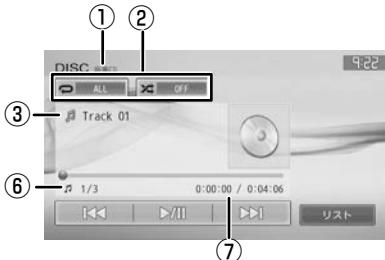
画面の見かたと操作

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

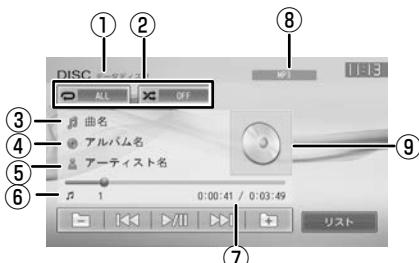
ここまで手順

ソースを DISC に切り替える (→ P.50)

音楽 CD



オーディオファイルディスク



- ① ディスクの種類
- ② リピート / ランダム再生モード
- ③ 音楽 CD のとき : トラック番号
オーディオファイルディスクのとき :
曲名 (ファイル名)
- ④ アルバム名 (フォルダ名) (オーディオファイルディスクのみ表示)
- ⑤ アーティスト名 (オーディオファイルディスクのみ表示)
- ⑥ 音楽 CD のとき : トラック番号 / 総曲数
オーディオファイルディスクのとき :
ファイル番号
- ⑦ 演奏時間 / 総演奏時間
- ⑧ 音声形式 (オーディオファイルディスクのみ表示)
- ⑨ アルバムアート画像
(オーディオファイルディスクのみ表示)

● 表示されるボタンとはたらき

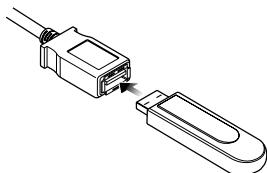
ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL : すべての曲をくり返し再生します。
OFF	1 : 再生中の曲をくり返し再生します。 フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
/	ランダム再生モードが切り替わります。 OFF : ランダム再生モードを解除します。
ALL (音楽 CD のみ) :	アルバム内の曲をランダム再生します。
リスト	フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。
/ (オーディオファイルディスクのみ表示)	前 / 次のフォルダを選択します。
/ 	前 / 次の曲を選択します。
/	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。



- リピート再生モードとランダムモードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

USB 機器 / SD カードのファイルを再生する

USB 機器を接続する



- 本機で再生できる USB 機器は 103 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。



- USB ケーブルは本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。

USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す



- フロントパネルを開けた状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- フロントパネルを開けた状態で電源をオフ (ACC オフ) にすると、フロントパネルが開いたままの状態で電源が切れます。

1 [▲] (オープンキー) を押す

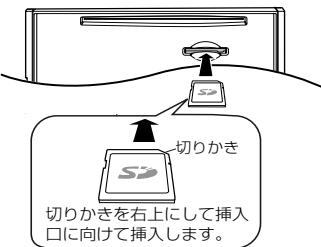
2 [オープン] にタッチする



フロントパネルが開きます。

3 SD カードを挿入口に入れる

SD カードは、突き当たるまで奥に差し込んでください。



4 [▲] (オープンキー) を押す

フロントパネルが閉じます。

- 本機で再生できる SD カードは 103 ページをご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

SD カードを取り出す

1 SD 以外のソースに切り替えて [▲] (オープンキー) を押す

2 [オープン] にタッチする

3 SD カードを取り出す

SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

4 [▲] (オープンキー) を押す

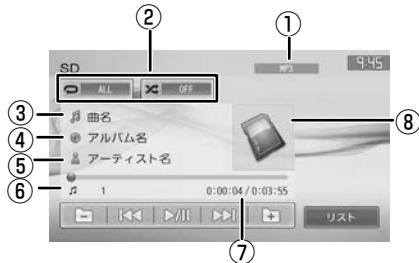
画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイルを再生します。

ここまで手順

ソースを USB または SD に切り替える (→ P.50)

オーディオファイル



- ① ファイル形式
- ② リピート / ランダム再生モード
- ③ 曲名 (ファイル名)
- ④ アルバム名 (フォルダ名)
- ⑤ アーティスト名
- ⑥ ファイル番号
- ⑦ 演奏時間 / 総演奏時間
- ⑧ アルバムアート画像

● 表示されるボタンとはたらき

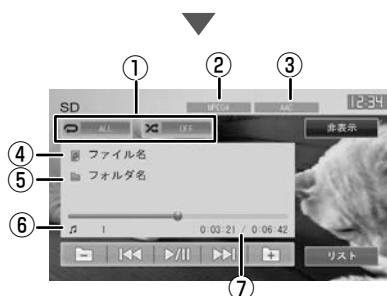
ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。
ALL:	すべてのファイルをくり返し再生します。
1:	再生中のファイルをくり返し再生します。
フォルダ:	再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。
OFF:	ランダム再生モードを解除します。
リスト	再生リストを表示します。
/	前 / 次のフォルダを選択します。
/	前 / 次のファイルを選択します。
▶/II	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバムアート画像、ジャンルの画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ビデオファイル

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の〔非表示〕でも消すことができます。

- ① リピート / ランダム再生モード
- ② 映像形式
- ③ 音声形式
- ④ ファイル名
- ⑤ フォルダ名
- ⑥ ファイル番号
- ⑦ 再生時間 / 総再生時間

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL : すべてのファイルをくり返し再生します。
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 OFF : ランダム再生モードを解除します。
[リスト]	再生リストを表示します。
/	前 / 次のフォルダを選択します。
/	前 / 次のファイルを選択します。
	再生 / 一時停止（ポーズ）します。
[非表示]	操作ボタンを消します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- 走行中は、ビデオファイルの映像は映りません。

iPod を再生する

iPod を接続する

iPod の接続には iPod 接続ケーブルが必要です。

■ Dock コネクタ (30 ピン) 搭載モデル

音楽再生用：

Apple Dock コネクタ USB ケーブル

音楽 / ビデオ再生用：

別売の **ダイハツ純正** iPod 接続用ケーブル

■ Lightning™ コネクタモデル

音楽再生対応のみ：

Apple Lightning USB ケーブル



- iPod 接続ケーブルを接続する USB ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。
- Apple Dock コネクタ USB ケーブルまたは Apple Lightning USB ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で変形や故障の原因になります。

■ iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。

iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

画面の見かたと操作

iPod の曲やビデオを再生します。



- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

曲を再生する

ここまで手順

ソースを iPod に切り替える (→ P.50)



- iPod モード表示
- リピート / シャッフル再生モード
- 曲名
- アルバム名
- アーティスト名
- 曲番号 / 全曲数
- 再生時間 / 総再生時間
- アルバムアート画像

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL : リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。
OFF	シャッフル再生モードが切り替わります。 OFF : シャッフル再生モードを解除します。 曲 : リスト内の曲をシャッフル再生します。 アルバム順 : アルバムをシャッフル再生します。 アルバム内の曲は順番どおりに再生します。
[モード切替]	iPod モードが切り替わります。 Head mode : 本機の画面で iPod の操作ができます。 External mode : iOS アプリケーションで音声や映像を再生する場合に使用します。再生操作は iPhone 本体で行います。
[リスト]	再生リストを表示します。 (→ P.63)
/	前 / 次の曲を選択します。
▶/II	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。

ビデオを再生する

iPod ビデオを再生するときは、リストから選んでください。(→ P.63)



- ビデオの再生中に本機の電源をオフにしてオンにすると、再生していたビデオは再生されません。

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- ① iPod モード表示
- ② リピート / シャッフル再生モード
- ③ ビデオ名
- ④ アルバム名
- ⑤ アーティスト名
- ⑥ ファイル番号 / 全ファイル数
- ⑦ 再生時間 / 総再生時間

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL : リスト内のすべてのビデオをくり返し再生します。
OFF	1 : 再生中のビデオをくり返し再生します。 OFF : シャッフル再生モードが切り替わります。 曲 : リスト内のビデオをシャッフル再生します。 アルバム順 : アルバムをシャッフル再生します。アルバム内のビデオは順番どおりに再生します。
[モード切替]	iPod 操作モードが切り替わります。 Head mode : 本機の画面で iPod の操作ができます。 External mode : iOS アプリケーションで音声や映像を再生する場合に使用します。再生操作は iPhone 本体で行います。
[リスト]	再生リストを表示します。 (→ P.63)
	前 / 次のビデオを選択します。
	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。
[非表示]	操作ボタンを消します。

リストから曲またはビデオを選択する

iPod 本体での操作と同様に、再生する曲やビデオを本機から選択できます。

1 [リスト] にタッチする



2 にタッチしてリスト (ビデオまたはミュージック) を選ぶ



3 再生するカテゴリー、曲またはビデオにタッチする



[トップ] :

一番上の層のリストに移動します。

[一つ上] :

一つ上の層のリストに移動します。

:

該当するフォルダまたはリストの先頭のファイルから再生されます。



- 手順 2 以降で表示されるカテゴリーは、ミュージックリストとビデオリストで異なります。

情報・設定画面について

情報・設定画面では、VICS 情報、接続情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1 【メニュー】を押して【情報・設定】にタッチする



情報・設定画面が表示されます。

VICS :

FM VICS 情報を表示します。(\rightarrow P.65)

接続 :

本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。
(\rightarrow P.84)

バージョン :

本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。(\rightarrow P.85)

ETC :

本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。(\rightarrow P.86)

ECO :

車のエコドライブ情報を表示します。
(\rightarrow P.70)

ナビ :

ナビゲーションに関する設定を行います。
(\rightarrow P.72)

サウンド :

サウンドに関する設定を行います。
(\rightarrow P.76)

システム :

システムに関する設定を行います。
(\rightarrow P.81)

VICS 情報を見る

VICS 情報とは

VICS (Vehicle Information and Communication System) は、一般財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル（種類）があります。

- ・ レベル 1（文字型情報）
情報が文字で表示されます。
- ・ レベル 2（簡易図形型情報）
情報が進路地図の模式図で表示されます。
- ・ レベル 3（地図表示型情報）
情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送（NHK-FM）を通じて、VICS の情報を受信することができます。
2015 年 4 月に開始された VICS サービス（FM 多重放送「VICS WIDE」）に対応しています。

VICS 情報利用上のご注意

- ・ 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- ・ サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、マルチパスなどによる）では、受信困難になることがあります。
- ・ 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります（情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります）。
- ・ FM 放送時間外は利用できません。

地図に表示される VICS 情報

地図表示型（レベル 3）情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。



駐車場情報

- 赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

統計情報による渋滞線（点線）

- 薄赤色：渋滞
薄橙色：混雑
薄青色：順調

渋滞情報

- 赤色：渋滞
橙色：混雑
水色：順調

気象・災害情報エリアの表示



気象・災害情報エリア

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

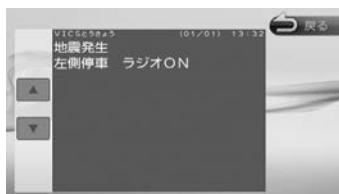
事故	通行止め 閉鎖	大型 通行止め	障害物 路上障害	チェーン 規制
故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限
火災	凍結	車線規制	車線規制：右側	進入禁止
片側交互 通行	駐車場 閉鎖	駐車場 混雑	駐車場 空き	駐車場 満車
		背景橙色	背景青色	背景赤色
駐車場 不明	SA・PA 閉鎖	SA・PA 混雑	SA・PA 空き	SA・PA 満車
背景黒色	背景橙色	背景橙色	背景青色	背景赤色
SA・PA 不明	その他の 規制	工事	徐行	速度規制
背景黒色				
対面通行	作業	気象情報	災害情報	災害情報



- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ (<http://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図に表示する VICS 情報は設定することができます。(→ P.69)
- 地図表示型（レベル3）情報を表示できる地図の縮尺は 10m～1km です（一般道では 10m～500m です。また、駐車場情報は 10m～200m で表示します）。
- 統計情報による渋滞情報は提供されない地域があります。

緊急情報の割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機のすべての画面に割り込み表示されます。



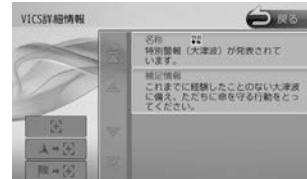
・ 緊急情報表示は「戻る」にタッチする、または約 15 秒経過すると自動的に消えます。

■ 「VICS WIDE」サービスによる緊急割り込み表示



[詳細] :

詳細にタッチすると緊急情報（特別警報）の詳細を見ることができます。



[閉じる] :

タッチすると 緊急情報（特別警報）を画面の下部または上部に表示します。



[詳細] :

上記の VICS 詳細情報を表示します。

[上位置]/[下位置] :

表示を画面上部または下部に移動させます。

[切替] :

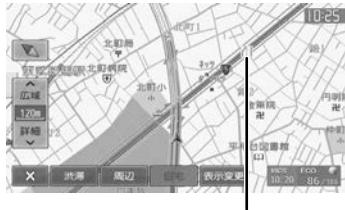
複数の緊急情報（特別警報）がある場合に表示されます。タッチするたびに情報の表示が切り替わります。

地図上の VICS 情報を見る

地図画面に表示された VICS の規制 / 障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1 規制 / 障害マークにタッチする

地点情報表示に規制情報が表示されます。



規制 / 障害マーク

2 [詳細] にタッチする**[切替] :**

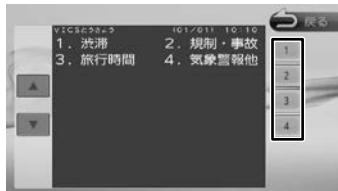
複数の VICS 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。



VICS の詳しい情報が表示されます。

VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易图形型情報）を表示します。

1 [メニュー] を押して [情報・設定] にタッチする**2 [VICS] にタッチする****3 [FM 図形情報] または [FM 文字情報] にタッチする****4 見たい情報の番号にタッチする****■ 図形情報****■ 文字情報**

- 情報画面で [▼] または [▲] にタッチすると一つ前または次の情報に切り替わります。

VICS 局の選局方法を切り替える

FM VICS 局の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

- ・ **自動選局**
現在地の都道府県に合わせて、FM VICS 局が自動的に選局されます。広域移動する場合には自動選局の方が便利です。
- ・ **手動選局**
FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。
県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

自動選局に設定する

- 1 [メニュー] を押して [情報・設定] にタッチする
- 2 [VICS] にタッチする



- 3 [VICS FM 選局モード] にタッチする



4 [自動] にタッチする



[自動] にチェックが付いているときは、自動選局が選択されています。

手動で選局する

- 1 [自動] にタッチしてチェックを外す
- 2 ▶ または ▶ にタッチして、受信周波数を設定する



受信する周波数が設定されます。

VICS 情報の表示設定をする

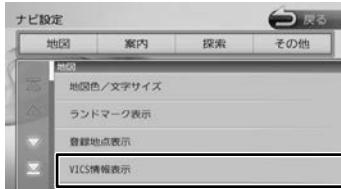
地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 【メニュー】を押して【情報・設定】にタッチする

2 [ナビ]にタッチする



3 「地図」の[VICS情報表示]にタッチする



4 表示する項目にタッチする



表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目にタッチすると、選択が解除されます。



- [表示オフ]にタッチするとすべてのVICS情報が表示されなくなります。

● 表示設定項目

項目	説明
渋滞 / 混雑線の表示 : 高速道	高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示 : 一般道	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示 : 高速道	高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示 : 一般道	一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線(統計情報)の表示 : 高速道	統計情報による高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線(統計情報)の表示 : 一般道	統計情報による一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線(統計情報)の表示 : 高速道	統計情報による高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線(統計情報)の表示 : 一般道	統計情報による一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	交通規制情報および気象・災害情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。

ECO 情報を確認する

ECO 情報を見る

現在地図画面でエコドライブ情報を見ることができます。



ECO ドライブ評点

ECO ドライブ評点は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100 点満点で表示されます。
e スタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

詳細情報を見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO 度判定や総合評価グラフが表示されます。

1 [メニュー] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [ECO] にタッチする

3



◀ / ▶ :

現在表示されている情報の 1 日前 / 1 日後の情報を表示します。

[ECO レシオ] :

燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- **e スタート** : 停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- **加速** : 加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
- **減速** : 減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- **経済速度** : 一定スピード（経済速度）での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。



ECO レシオについて

ECO 情報画面で [ECO レシオ] にタッチすると、燃費度合グラフが表示されます。



</> :

グラフ表示を 1 日分スクロールします

[ECO 判定モード] :

ECO 度の判定のモード(ソフト / ノーマル / ハード)を設定します。

ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。(お買い上げ時は「ノーマル」に設定されています)

[ECO データ消去] :

過去の ECO データを消去します。

確認のメッセージで「[はい]」にタッチすると、ECO データが削除されます。



- ECO 情報で表示される内容は、あくまで目安です。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビジュアル

情報・設定

オプション

付録

ナビゲーションの設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

1 【メニュー】を押して【情報・設定】にタッチする

2 [ナビ]にタッチする



3 設定する項目にタッチする



- 「ETC 音声の出力」、「ETC 料金の表示」は、別売の対応 ETC 車載器が接続されている場合に設定できます。

設定できる項目は以下のとおりです。

● 地図

項目	設定	説明
地図色 / 文字 サイズ	地図色 : 1* / 2 文字サイズ : 小 / 中 / 大* 地図色昼夜切 替 : 昼色に固 定 / 夜色に固 定 / 自動 *	地図色、文字サイズと 地図表示の設定をしま す。(→ P.74)
ランドマーク 表示	—	地図に表示するランド マークを設定します。 (→ P.75)
登録地点表示	—	地図に表示する登録地 点を設定します。表示した い登録地点のカテゴリ にタッチします。 もう一度タッチすると選 択を解除します。 [表示オフ]にタッチす るとすべて表示しませ ん。
VICS 情報表 示	—	地図に表示する VICS 情 報を設定します。
自車マーク	▲* / ■ / ●	自車マークのデザインを 設定します。
走行軌跡の 表示	ON* / OFF	走行軌跡を表示するか どうかを設定します。 (→ P.75)
走行軌跡を 消去	—	記憶されている走行 軌跡を消去します。 (→ P.75)
地図の向き	ノースアップ /ヘディング アップ / 3D ビュー*	地図の向きを設定しま す。
地図の向き (小画面)	ノースアップ /ヘディング アップ / 3D ビュー*	小画面での地図の向きを 設定します。
フライビュー マップ表示	ON* / OFF	フライビューマップを表 示するかどうかを設定し ます。
100m 縮尺 での市街地図 表示	ON* / OFF	100m 縮尺で市街地図 を表示するかどうかを設 定します。OFF にすると 50m 以下で市街地図が 表示されます。

● 案内

項目	設定	説明
案内音声の音量	1 ~ 7* ~ 20	案内音声の音量を設定します。
案内音声量の車速連動	ON*/OFF	案内音量設定と車速に応じて、案内音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内と VICS 情報の案内音声を出力するかどうかを設定します。
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF: 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON : ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON*: 音声を出力します。	
ETC 音声の出力	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 音声を出力するかどうかを設定します。
ETC 料金の表示	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。 (→ P.17)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。 (→ P.17)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。 (→ P.38)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。 (→ P.38)
ここです案内表示		ここです案内の表示(→ P.38)を設定します。 ON: 表示します。 一般道のみ ON*: 一般道のみ表示します。 OFF: 表示しません。
ETC レーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときに ETC レーン案内を表示するかどうかを設定します。 (→ P.39)
AV 画面時の地図割り込み	ON*/OFF	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込まれるかどうかを設定します。

● 探索

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。(→ P.32)
道幅の広い道路		優先しない: 道幅を考慮せずルートを探査します。 優先する*: 道幅の広い道路を優先して通るルートを探査します。 最優先する: 道幅の広い道路を最優先して通るルートを探査します。
スマート IC を利用した探索	ON/OFF*	スマート IC を利用した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。
最適時間を考慮した探索	ON*/OFF	最適時間考慮した探索を行うかどうかを設定します。

- スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

● その他

項目	説明
現在地修正	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。 (→ P.74)

*: お買い上げ時の設定です。

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1 「地図」の【地図色 / 文字サイズ】にタッチする



2 設定したい項目にタッチする



地図色：

地図の表示色を設定します。

文字サイズ：

小、中、大から文字サイズを設定します。

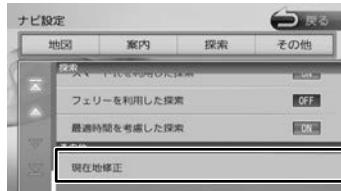
地図色昼夜切替：

- 【自動】：
車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)
- 【昼色に固定】：
常に昼色の地図を画面に表示します(昼画面)。
- 【夜色に固定】：
常に夜色の地図を画面に表示します(夜画面)。

自車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

1 「その他」の【現在地修正】にタッチする



地図が表示されます。

2 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる(位置を修正)



3 【向きを修正】にタッチする

4 (←) または (→) にタッチして、自車の向きを設定する(向きを修正)



5 【決定】にタッチする



- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。(→P.18)
- 手順5で【決定】にタッチする前なら、【位置を修正】または【向きを修正】にタッチして、何度も自車位置や向きを修正しなおすことができます。
- 手順5で【決定】にタッチする前に【戻る】にタッチすると、修正した自車位置や向きは破棄されて、ナビ設定に戻ります。

走行軌跡の表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 「地図」の「走行軌跡の表示」にタッチする



[ON] :

走行軌跡を表示します。

[OFF] :

走行軌跡を表示しません。

走行軌跡を消去する

1 「地図」の「走行軌跡を消去」にタッチして、[はい]にタッチする

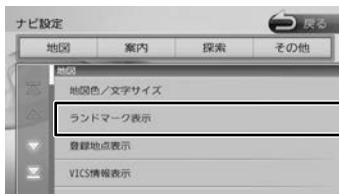


- 走行軌跡は、現在地より過去1000kmの軌跡が保存されています。1000kmを超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を“OFF”に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド／コンビニ／ファミリーレストラン／ファーストフードについては、500m以下のスケールで表示します。その他のランドマークは200m以下のスケールで表示されます。

1 「地図」の「ランドマーク表示」にタッチする



2 設定するパターンにタッチする



3 表示するランドマークのジャンルにタッチする



タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。さらにジャンルの分類を選択する場合は、ジャンル名にタッチすると分類が表示されます。設定したい項目にタッチします。



表示させたいパターン（1～3）にタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。



- [表示オフ]にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。

サウンドの設定をする

音響効果や音質、オーディオ効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。



- サウンドの設定はAVソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ(STANDBY)のときは、サウンドの設定はできません。

1 【メニュー】を押して【情報・設定】にタッチする

2 【サウンド】にタッチする



3 設定する項目にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
リスニングポジション	—	リスニングポジションを設定します。 (→ P.77)
イコライザー	—	音質を設定します。 (→ P.78)
バランス/フェーダー	—	または ▶にタッチして左右のバランスを、または △または ▽にタッチして前後のバランスを調整します。 [センターに戻す]：左右／前後ともに中央になります。

項目	設定	説明
Drive Equalizer +	ON*/OFF	車速とAV音量に応じて音質を自動で調整します。
ラウドネス	OFF*/LOW/HIGH	小音量時に不足する低音と高音を補います。ここでは、そのレベルを設定します。
バスブースト	OFF*/LEVEL1/LEVEL2/LEVEL3	低音を増強するレベルを設定します。
スペースエンハンサー	OFF*/SMALL/MEDIUM/LARGE	実際の車室よりも広い仮想空間での音響効果を作り出します。ここでは、仮想空間の広さを設定します。 ソースが“TUNER”的ときは設定できません。
サウンドライザー	OFF*/LOW/MIDDLE/HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置(高さ)を設定します。
リアライザー	OFF/LEVEL1*/LEVEL2/LEVEL3	ぼやけた音をはっきりさせて、よりアリティ感のある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。
サブリーム	ON/OFF*	音声を圧縮したことで失われた情報や変化した波形を元に戻すことで、自然な音を再現します。圧縮された音楽に効果的です。
スピーカー	—	スピーカーの構成と車両タイプを設定します。 (→ P.77)
ソースレベル	—	各AVソースの音量を抑えます。 (→ P.80)

*：お買い上げ時の設定です。

スピーカー構成を設定する

車両タイプを選んでお車に適したスピーカーを設定します。
スピーカーは個別に設定することもできます。

1 [スピーカー] にタッチする



2 [車両タイプ] にタッチする



3 車両のタイプにタッチする



スピーカーを個別に設定する

1 各項目を設定する



フロントスピーカー / リアスピーカー：
取付位置とレベルを設定します。

ツイーター：
サイズとレベルを設定します。
(フロントスピーカーのみ)

リスニングポジションを設定する

車に乗っている人にとってより良い音場になるよう、リスニングポジションを選択します。リスニングポジションを選択すると、最適な DTA (Digital Time Alignment) が設定されます。DTA の値は微調整することもできます。

- この設定を行う前に、車両タイプを設定してください。(→ P.77)
- DTA とは、実際のリスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を調整する機能です。

1 [リスニングポジション] にタッチする



2 設定するリスニングポジションにタッチする

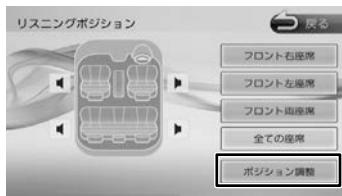


選択したリスニングポジションに合った DTA (Digital Time Alignment) が設定されます。

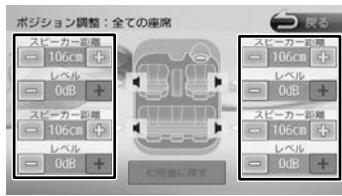
DTA を微調整する

実際のリスニングポジションに合わせて、DTA を微調整します。

1 [ポジション調整] にタッチする



2 各スピーカーの距離とレベルを設定する



[スピーカー距離] :

お使いの車で実際に測った距離を設定します。リスニングポジションを「全ての座席」または「フロント両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

[レベル] :

実際に音を聴きながら調整します。

[初期値に戻す] :

設定した値を初期設定に戻します。

プリセットイコライザーを設定する

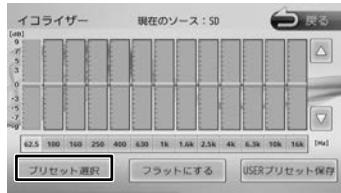
ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーをソースごとに設定します。

1 設定したいソースを選ぶ

2 [イコライザー] にタッチする



3 [プリセット選択] にタッチする



4 設定したいプリセットイコライザー(ジャンル)にタッチする



手順1で選択したソースに設定されます。

ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整し、ソースごとに設定します。

ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを呼び出してイコライザーカーブを調整することもできます。

1 設定したいソースを選ぶ

2 [イコライザー] にタッチする



3 画面を指でなぞる



[フラットにする] :

すべての音域をフラットにします。

- 調整したい周波数を選んでタッチし、△ / □ にタッチしてレベルを調整することもできます。

■ プリセットイコライザー（ジャンル）をベースにイコライザーカーブを調整する

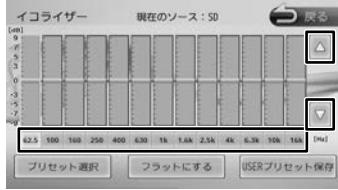
1 イコライザー画面で【プリセット選択】にタッチする



2 ベースにしたいプリセットイコライザー（ジャンル）にタッチする



3 調整したい周波数を選んでタッチし、△ / □ にタッチしてレベルを調整する

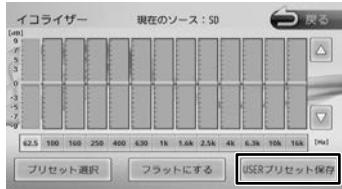


選択しているソースに設定されます。

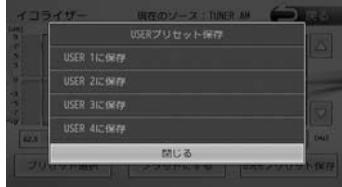
調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプリセットトイコライザーのUSER1～4に保存できます。

- 1 イコライザーカーブを調整する
- 2 [USER プリセット保存] にタッチする



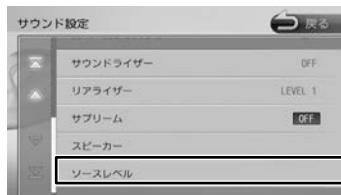
- 3 保存先にタッチする



ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

- 1 [ソースレベル] にタッチする



- 2 [+] または [-] にタッチして、音量を調整する



[初期値に戻す] :

ソースの音量レベルを初期設定に戻します。



- ・「音楽 DISC」の音量レベルは固定です。

システムの設定をする

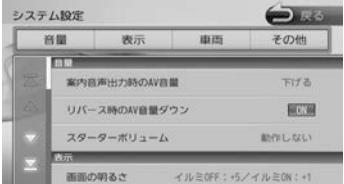
本機のシステムに関する項目を設定します。

1 【メニュー】を押して【情報・設定】にタッチする

2 [システム]にタッチする



3 設定する項目にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

● 音量

項目	設定	説明
案内音声出力時のAV音量	そのまま / 下げる */ 消音	音声案内時のAVソースの音量を設定します。
リバース時のAV音量ダウン	ON*/OFF	バックするときにAVソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターター ポリューム	動作しない */ 更新間隔:速 / 更新間隔:中 / 更新間隔:遅	電源オン時にAVの音量を一定量下げます。 電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。

● 表示

項目	設定	説明
画面の明るさ	イルミ OFF : -5 ~ +5* イルミ ON : -5 ~ +1* ~ +5	画面の明るさを調整します。 「イルミ OFF」は車両のライトスイッチがオフのときに、「イルミ ON」はライトスイッチがオンのときに調整してください。
映像画面 / 消灯画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中と画面オフ時に時計を表示するかどうかを設定します。 画面オフ中 / 映像表示中以外の画面（現在地図画面など）では、この設定を【OFF】にしても、時計表示を消すことはできません。

● 車両

項目	設定	説明
車両ナンバー	軽*/5・7/ 3/1	車両ナンバーの分類番号を設定します。 ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
速度超過アラーム	OFF 低速 ON 高速 ON 低速 / 高速 ON*	警告案内しません。 約60km/hになったときに音声で警告案内します。 約100km/hになったときに音声で警告案内します。 約60km/hと約100km/hになったときにそれぞれ音声で警告案内します。
パーキングブレーキアラーム	ON*/OFF	パーキングブレーキをかけたまま発進したときにそれぞれ音声で警告案内するかしないかを設定します。
バックモニター機能	ON/OFF*	別売のバックモニターが接続されているときはONに設定します。（→P.88）
バックモニター設定	-	バックモニターの設定をします。

項目	設定	説明
ステアリングスイッチ	使用しない／ユーザー学習／ダイハツ*	設定については92ページをご覧ください。
ステアリングスイッチ学習	—	ステアリングスイッチの学習（独自の機能割り当て）を行います。 → P.93)

● その他

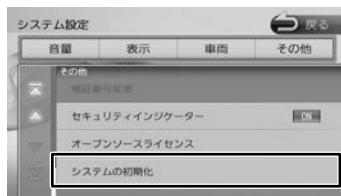
項目	設定	説明
操作音の出力	ON*/OFF	操作音の出力をするかしないかを設定します。
ショートカットボタン登録	—	マイメニューのショートカットボタンに機能を割り当てます。 → P.16)
暗証番号登録	—	本機の起動のための暗証番号を設定します。 → P.83)
暗証番号解除	—	設定した暗証番号を解除します。 → P.83)
暗証番号変更	—	設定した暗証番号を変更します。 → P.83)
セキュリティインジケーター	ON*/OFF	ナビの電源をオフにしたときにセキュリティインジケーターを点滅させるかどうかを設定します。
オープンソースライセンス	—	ライセンスを表示します。
システムの初期化	—	ユーザーが登録したデータ（登録地点、検索履歴など）を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。

*：お買い上げ時の設定です。

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
暗証番号は初期化しても削除されません。

- 1 「その他」の【システムの初期化】にタッチして、【はい】にタッチする



暗証番号を設定する

盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。
正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

- ・暗証番号記入欄

--	--	--	--	--	--	--

- 1 【メニュー】を押して【情報・設定】にタッチする
- 2 [システム]にタッチする
- 3 「その他」の【暗証番号登録】にタッチする
- 4 設定する4～8桁の暗証番号を入力し、[決定]にタッチする

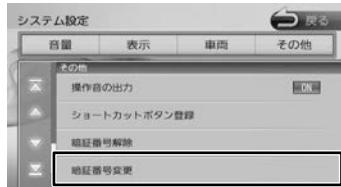


- 5 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定]にタッチする



暗証番号を変更する

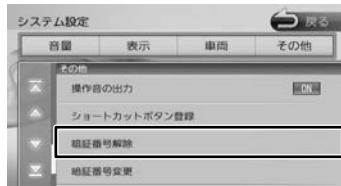
- 1 「その他」の【暗証番号変更】にタッチする



- 2 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定]にタッチする
- 3 新しく設定する4～8桁の暗証番号を入力し、[決定]にタッチする
- 4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定]にタッチする

暗証番号を解除する

- 1 「その他」の【暗証番号解除】にタッチする



- 2 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定]にタッチする

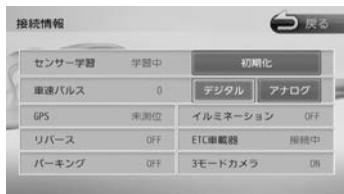
現在の暗証番号が解除されます。

接続状態を確認する

本機に接続している各種機器の接続状態を確認します。

1 [メニュー] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [接続] にタッチする



接続情報が表示されます。

表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。[初期化] にタッチすると、センサーの学習を初期化します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。[デジタル] または [アナログ] にタッチすると、パルス入力モードを切り替えます。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
リバース	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキング	パーキング検出コードの接続状態を表示します。

項目	説明
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
ETC 車載器	ETC 車載器の接続状態を表示します。
3モードカメラ	別売の3モードカメラが正しく接続されていると表示されます。カメラが通信中のときは「ON」と表示されます。



- センサーの学習初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を基に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習していますが、タイヤを交換した後、自車位置のずれが大きいようであれば、センサー学習の初期化を行ってください。

センサー学習を初期化した場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。



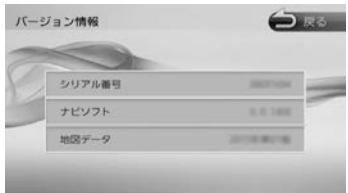
- センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
- GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。

バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

1 【メニュー】を押して【情報・設定】にタッチする

2 【バージョン】にタッチする



バージョン情報が表示されます。

ETC 車載器を使う

ETC 情報について

- 本機で対応している ETC 車載器は、別売の **ダイハツ純正** ETC 車載器です。また、ETC 車載器を接続するには **ダイハツ純正** ETC 通信ケーブルが必要です。
- ETC (Electronic Toll Collection System) は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

ETC の音声出力を設定する

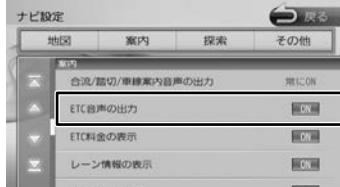
ETC の音声案内を出力するかどうかを設定します。

1 [メニュー] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [ナビ] にタッチする



3 「案内」の [ETC 音声の出力] にタッチする



[ON] :

ETC の音声案内をします。

[OFF] :

ETC の音声案内をしません。

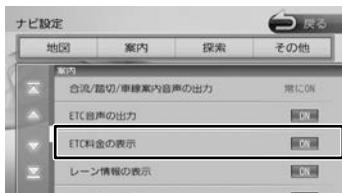
料金表示を設定する

1 【メニュー】を押して【情報・設定】にタッチする

2 [ナビ] にタッチする



3 「案内」の【ETC 料金の表示】にタッチする



[ON] :

ETC 料金を表示します。

[OFF] :

ETC 料金を表示しません。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

1 【メニュー】を押して【情報・設定】にタッチする

2 [ETC] にタッチする



ETC履歴情報	
2014/03/03 07:51	1700円 ホーム→車両用
2014/02/28 20:25	1450円 ホーム→車両用
2014/02/24 07:51	1700円 ホーム→車両用
2014/02/21 20:04	1450円 ホーム→車両用
2014/02/09 21:12	700円 ホーム→車両用
2014/02/07 20:05	1450円 ホーム→車両用

【車載器情報】:

車載器の情報を表示します。

車載器情報	
車載器管理番号	00004-00111646-101121
型式登録番号	00001
型式名	00000000
統一エラーコード	7
カード有効期限	2016/09/30



- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カード挿入時のみ表示されます。

バックモニターを使う

使用上のご注意

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。
- バックモニター機能は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなることがあります。
- 画質、ガイド線を設定するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。
- ガイド線を設定するときは、必ず安全で迷惑のかからない場所に停車してから操作してください。
- ガイド線の横幅を駐車線に合わせて設定した場合は、実際に表示されるガイド線は自車の幅ではありません。駐車場のスペースは場所によって異なります。駐車するときは実際の大きさをよくご確認ください。
- 本機で対応しているバックモニターは、別売の「**ダイハツ純正** バックモニターまたは**ダイハツ純正** 3 モードカメラです。
- 説明に使用しているカメラ画面はイメージです。

バックモニターの接続を設定する

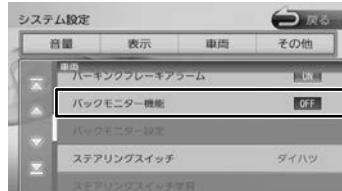
バックモニターを接続しているときに設定します。

1 [メニュー] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [システム] にタッチする



3 「車両」の [バックモニター機能] にタッチする



[ON] :

別売の「**ダイハツ純正** バックモニター」を接続したときは「ON」にしてください。

[OFF] :

バックモニターを接続していないときは「OFF」にしておいてください。

バックモニターの映像を表示する

バックモニターの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

ダイハツ純正バックモニターを接続しているとき

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする



[目安線] :

目安線を消します。もう一度タッチすると表示します。

モニター映像にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



[非表示] :

操作ボタンを消します。

[上位置] / [下位置] :

警告文の位置表示を変更します。

[ガイド線] :

ガイド線を表示します。もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

ダイハツ純正 3 モードカメラを接続しているとき

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする



モニター映像にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



[非表示] :

操作ボタンを消します。

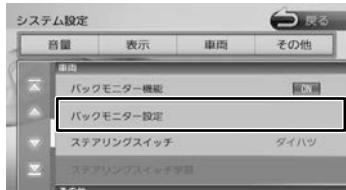
①、②については 90 ページをご覧ください。

バックモニターの設定をする

ダイハツ純正 バックモニターを接続しているとき

ガイド線の調整を行います。

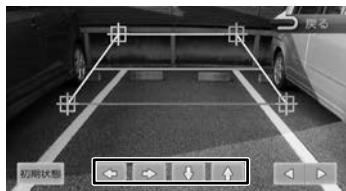
1 「車両」の【バックモニター設定】にタッチする



2 ◀または▶にタッチして、調整するカーソル(ヰ)を選択する



3 ◀/▶/↓/↑にタッチして、ガイド線を調整する



[初期状態] :

カーソル(ヰ)を初期の位置に戻します。

[戻る] :

調整ボタンを消して、ガイド線表示の画面に戻ります。

4 手順2と3を繰り返して、他のカーソル(ヰ)位置を調整する

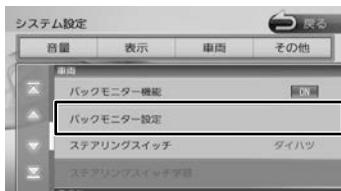


- ・走行中、ガイド線調整はできません。

ダイハツ純正 3モードカメラを接続しているとき

ガイド線の表示 / 非表示とカメラ映像の表示方法(ビュー)の設定を行います。

1 「車両」の【バックモニター設定】にタッチする



2 表示方法を設定する



①ガイド線の表示 / 非表示を設定する

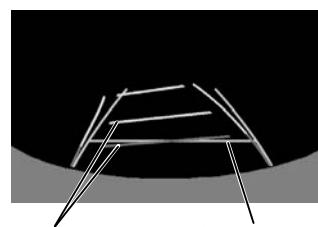
[ガイド線(固定)] :

ガイド線(固定)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

[ガイド線(予測)] :

ガイド線(予測)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

ガイド線(予測)は、ハンドル操作に連動した車の進行軌跡を示します。



ガイド線(予測)赤 / 黄 ガイド線(固定)緑

②表示方法(ビュー)を設定する

[ノーマル] [トップ] [ワイド] :

画面の表示方法を切り替えます

[戻る] :

設定を終了して、システム設定メニューに戻ります。

画質を調整する

バックモニター映像の画質を調整することができます。

1 【メニュー】を押し続ける

2 [◀ / ▶] (-4 ~ 0 ~ +4) にタッチして各項目を調整する



ブライトネス：

明るさを調整します。

コントラスト：

コントラストを調整（強弱）します。

色の濃さ：

色の濃淡を調整します。

はじめに

基本操作

ナビゲーション
オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

オプション

付録

ステアリングスイッチを使う

ステアリングスイッチの設定について

ステアリングスイッチを装備している車両は、ステアリングスイッチから本機を操作することができます。

お買い上げ時は【ダイハツ】に設定されています。

キー	機能
🔊 / 🔊	・AVの音量を調整(0~40)します。
</>	・ラジオ、ワンセグ： 放送局を切り替えます。 押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 ・音楽／ビデオ再生： 前／次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると、早送り／早戻しします。
MODE	AVソースを切り替えます。 ディスクが挿入されていない場合や 機器が接続されていないなど、選択 できないソースはスキップされます。
.....	・音量を上げるキーを押し続けると連続して音量値が15まで上がります。

そのままご使用になる場合は、ステアリングスイッチの設定は不要です。

ユーザー独自の機能を割り当てる場合とステアリングスイッチを使用しないときは設定を行ってください。

ステアリングスイッチの設定をする

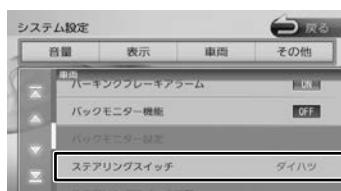
ステアリングスイッチに機能を割り当てる、またはステアリングスイッチを使用しない場合の設定を行います。

1 【メニュー】を押して【情報・設定】にタッチする

2 【システム】にタッチする



3 「車両」の【ステアリングスイッチ】にタッチする



4 設定する項目にタッチする



ステアリングスイッチを使用しないとき：
【なし】にタッチする

独自に機能を割り当てるとき：
【ユーザー学習】にタッチする

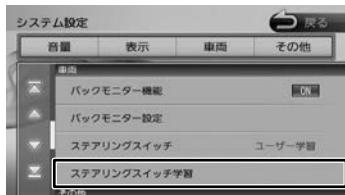
独自に機能を割り当てる場合は、93ページの手順3に進んでください。

独自に機能を割り当てる

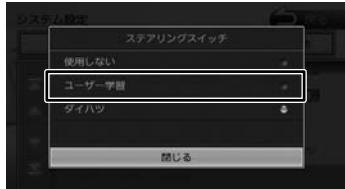
ステアリングスイッチに機能割り当て（ステアリングスイッチ学習）を行います。

- ステアリングスイッチの割り当てが完了した後で、機能を追加することはできません。追加したい場合は学習の初期化（→ P.94）を行い、再度スイッチの割り当てを行ってください。

1 「車両」の【ステアリングスイッチ】にタッチする



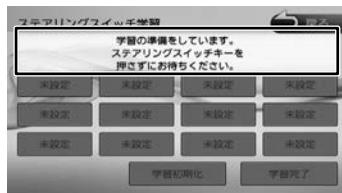
2 【ユーザー学習】にタッチする



3 「車両」の【ステアリングスイッチ学習】にタッチする

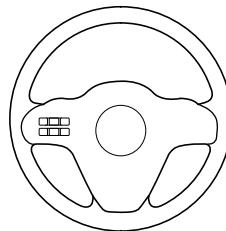


学習が開始できるまではしばらくお待ちください。ステアリングスイッチは押さないでください。

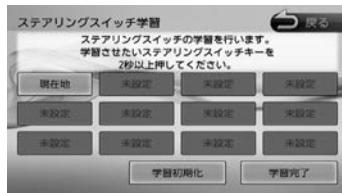


囲った部分のメッセージが、「ステアリングスイッチの学習を行います。学習させたいステアリングスイッチを2秒以上押してください。」と表示されたら学習を開始してください。

4 機能を割り当てるステアリングスイッチを約2秒以上押す



5 割り当てる機能にタッチする



割り当てる機能が表示されます。
さらに機能を割り当てる場合は、手順4と5を繰り返します。

6 【学習完了】にタッチする

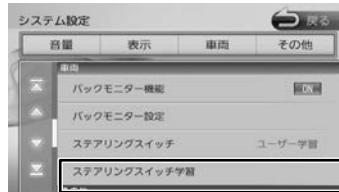
設定できる機能は以下のとおりです。

キー	機能
未設定	設定しません。
メニュー	メニュー画面を表示します。押し続けると、画面コントロールメニューを表示します。
現在地	現在地図画面を表示します。押し続けると、画面の表示をオフにします。
AV	AV 画面を表示します。押し続けると、AV をオフ (STANDBY) にします。
SRC	ソース切替画面を表示します。
目的地	目的地検索画面を表示します。
マイメニュー	マイメニュー画面を表示します。
MODE	押すごとに AV ソースが切り替わります。押し続けると、AV をオフ (STANDBY) にします。
ATT	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
VOL▲/▼	AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。
◀▶ / ▶▶	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ、ワンセグ：放送局を切り替えます。 押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 音楽 / ビデオ再生：前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると、早送り / 早戻しします。
詳細	詳細な地図を表示します。 (地図画面表示中)
広域	広域な地図を表示します。 (地図画面表示中)

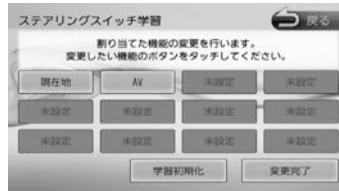
ステアリングスイッチの割り当てを変更 / 初期化する

独自に割り当てたステアリングスイッチの変更や消去、初期化ができます。初期化は手順2で【学習初期化】にタッチしてください。

1 「車両」の【ステアリングスイッチ学習】にタッチする



2 割り当てを変更するボタンにタッチする



【学習初期化】：

ステアリングスイッチに割り当てた機能をすべて消去します。

3 割り当てる機能にタッチする



【未設定】：

ステアリングスイッチに割り当てられた機能を消去します。

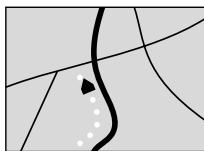
4 【変更完了】にタッチする

自車位置の測位精度について

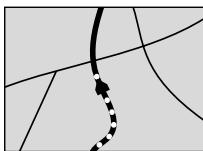
マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチング
していない場合



マップマッチング
している場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

1) 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。

- トンネルの中やビル内の駐車場
- 2層構造の高速道路の下
- 高層ビルの群衆地帯
- 密集した樹木の間

- 2) GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができないことがあります。
- 3) 3基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位はできません。

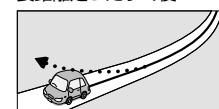
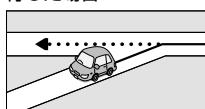
GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られなことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

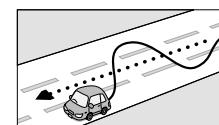
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

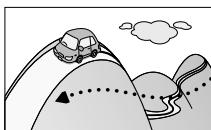
角度の小さいY字路を走
直線や緩やかなカーブを行
行した場合



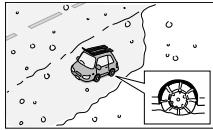
砂利道や雪道などで、タ
イヤがスリップした場合



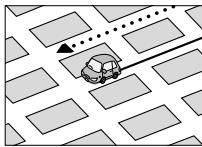
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合

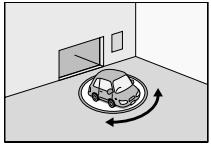


- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合

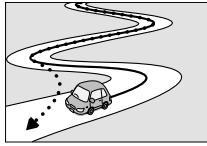
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合

- 地図と実際の道路形状が異なる場合

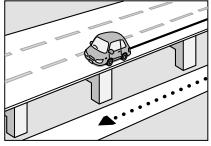
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



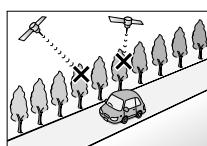
ヘアピンカーブが続いた場合



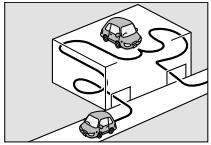
高速道路と側道などが隣接している場合



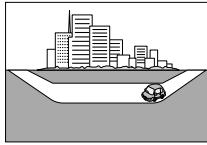
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



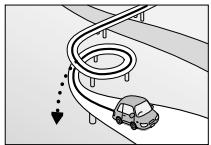
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



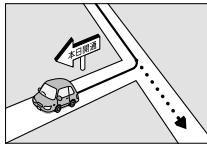
地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



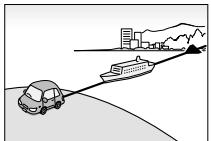
ループ橋などを走行した場合



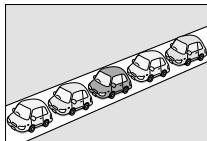
地図データにはない、新設道路を走行した場合



フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が output されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来の GPS 卫星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

(2015 年 10 月現在、準天頂衛星初号機「みちびき」が稼働中です。現時点では、受信できる時間帯に制限があります。また、季節によって時間帯は異なります。)

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
■	信号機	⛷	スキー	文	その他学校	SA	SA
oval	都道府県庁舎	🏕	キャンプ	✚	保健所	PA	PA
◎	市特別区庁舎	🎡	遊園地	■	税務署	JCT	JCT
●	町村指定都市区庁舎	🦒	動物園	⚡	発電所	IC/JCT	IC/JCT (併設)
CALENDAR	官庁公共施設	🏛️	公園	■	裁判所	IC/SA	IC/SA (併設)
🚓	警察	🏨	ホテル	횃불	灯台	IC/PA	IC/PA (併設)
🚒	消防	GYM	スタジアム	אולם	ホール	SA/JCT	SA/JCT (併設)
文	学校	🏟	スポーツ施設	IC	スマート IC	PA/JCT	PA/JCT (併設)
〒	郵便局	­tion	植物園	■	その他の目的物	¥	料金所
✚	病院	🏛️	美術館	⌚	NTT	スマート IC	スマート IC
🏪	デパート／スーパー	🏛️	博物館	_TICKET	サーキット	ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
תורה	カー用品店	­i	水族館	🏸	テニスコート	🍽️	レストラン
IC	IC	📖	図書館	🏡	ディスカウントストア	🥪	スナック
SA	SA	🎢	テーマパーク	Ⓜ️	ビルアパート名称	🛍️	ショッピング
PA	PA	🏯	城・天守閣	🛣️	道の駅	NAS	ハイウェイオアシス
P	パーキング	🗼	展望タワー	🛳️	ヘリポート	👤	インフォメーション
⼯	工場	♨	温泉	🐴	乗馬	休憩所	休憩所
飛行場		▲	山頂	体育馆		HYWAY	ハイウェイ情報ターミナル
⛴️	フェリー	✉️	自衛隊	🐄	牧場	👶	ベビーコーナー
⚓	港	墓地		אולם	ホール	🐕	ドッグラン
¥	料金所	⌚	ボウリング場	🚗	自動車学校	♿	障害者用トイレ
⚓	マリーナ	⚽	サッカー	トンネル		🏧	ATM
🏯	史跡名勝	🏇	競馬場ワインズ	🚢	船着場（観光船等）	🚻	トイレ
🏯	城跡	⼤	大学	⚾	野球場		
⛩️	神社	短大		ﬆ	展望台		
🏯	寺院	高専					
⛪	教会	高校					
🏊	海水浴場	中	中学校	IC	IC		
⛳	ゴルフ場	小	小学校	SMART IC	スマート IC		



- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および／または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条（使用権）

- 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
- 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の変更をすることができません。
- 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含と否とに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
- 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者

以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）

- 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
- 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

- ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
- ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から 2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第 11 条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第 12 条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑惑を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。

ホームページアドレス

<http://www2.jvckenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できることに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は「情報・設定」—「システム」—その他内の「[オープンソースライセンス]」です。

VICSについて

VICSサービスの問い合わせ

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICSの仕組みやサービスエリアなどについて
- 文字情報（レベル1）、簡易図形情報（レベル2）の情報表示について
<問い合わせ先>

VICSセンター 運用管理室

電話受付時間

9:30～17:45

（土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）

電話番号

0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX 受付時間 24時間

FAX番号（全国） 03-3562-1719

- VICS関連商品の機能や使用方法について
- サービスエリア内の受信可否について
- 地図表示（レベル3）の情報表示について
<問い合わせ先>

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-977-846

（ティーラーオプション専用窓口）

FAX

045-450-2308

住所

〒221-0022 神奈川県横浜市

神奈川区守屋町3-12

受付時間

月曜～金曜 9:30～18:00

（土曜、日曜、祝日および当社

休日は休ませていただきます）

- VICSの最新情報について

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネット URL <http://www.vics.or.jp/>

なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（またはお買い上げの販売店）までご連絡ください。

VICSリンクの更新について

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSリンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSリンクの追加や変

更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- ・ VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することができます。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランプラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示す

る形態のサービス

(3) 地図重複型サービス

車載機のモニターデジタル道路地図上に情報を見重複表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランプラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行なうことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することができます。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いをします。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。(利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雜則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2. VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行なうことがあります。

[別表]

視聴料金 300円（税抜き）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

・本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	—
	DTS-CD	×	—
	ビデオ CD、 スーパー	×	—
	ビデオ CD	—	—
	フォト CD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
その他	CCCD	×	—
	デュアル ディスク	×	—
	スーパー オーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます

△：一部のみ再生できます

×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/
Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）が着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかつたり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、8cmCD アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC ^{*1}
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/ 2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT ^{*2}

*1 : MMC(MultimediaCard) には対応していません。

*2 : この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

- SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

- miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用出来ない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32 または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機は SD-Audio には対応していません。
- 全ての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB1.1/2.0 (High Speed) ^{*1}
デバイスクラス	マスストレージクラス (MSC device) ^{*2}
最大消費電流	1A 以下
ファイルシステム	FAT16/FAT32 ^{*3}

*1 : USB3.0 には対応していません。

*2 : 使用する USB デバイスがUSB マスストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

*3 : この他のファイルシステム (NTFS、exFAT 等) には対応していません。

USB 機器使用上のご注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB ハブを介して USB 機器を接続しないでください。
- マルチカードリーダーを使用する場合は、複数のメモリーカードを挿さないでください。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック		メディア	CD	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○	
	WMA	○	○	○	
	AAC	○	○	○	
	WAV	○	○	○	
	FLAC	○	○	○	
	Vorbis	○	○	○	
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	○	○	
	H.264/MPEG-4 AVC	×	○	○	
	WMV	×	○	○	

○：再生できます ×：再生できません

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC, HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCMのみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit ¹	16bit	16bit/24bit ¹
ビットレート	8～320kbps, VBR	8～320kbps	8～320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング周波数	16k～48kHz	16k～48kHz	16k～48kHz	16k～88.2kHz	16k～88.2kHz ²	
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/Professional/Lossless/Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル：0～8 ギャップレス再生は非対応	ギャップレス再生は非対応	ギャップレス再生は非対応

*1 : 16bit 相当で再生します。

*2 : DISC は 48kHz まで対応しています。

※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video		H.264/MPEG-4 AVC			WMV		
対応形式	ISO MPEG4		H.264/MPEG-4 AVC			Windows Media Video Ver.9(VC-1)		
ファイルコンテナ	AVI	MP4	AVI	MP4	FLV	ASF		
拡張子	.avi	.mp4	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.wmv		
プロファイル	アドバンスドシンプル プロファイル			ベースラインプロファイル、 メインプロファイル		メイン プロファイル		
対応音声 コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC			WMA		
最大ピクチャ サイズ	1280 × 720		1280 × 720			1280 × 720		
最大フレーム レート	30fps		30fps			30fps		
最大ビットレート	8Mbps		8Mbps			8Mbps		

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをする可能性があります。

※ 本機ではファイルサイズが4GB以下のビデオファイルが再生できます。

(1) ファイル名とフォルダ名

- 本機で表示できる文字：
半角英数文字、半角カタカナ、全角文字
- 文字数制限：
ファイル 全角 80 文字（拡張子は除く）
フォルダ 全角 80 文字
ファイル名またはフォルダ名が 文字数制限を超えると再生できません。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。
- 使用できない文字：
¥、＼、／、：、＊、？、”、＜、＞、|
ファイルには、正しく拡張子を付けてください。ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

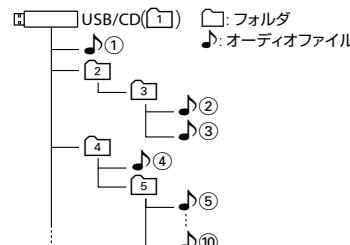
デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

(2) ファイル数とフォルダ数の制限

- ディスク：
1 フォルダ内の最大ファイル数：999
ディスク内の最大ファイル数：5000
ディスク内の総フォルダ数が 500 以上の場合
は、ディスク内的一部のファイルを認識でき
ない場合があります
- USB 機器および SD カード：
1 フォルダ内の最大ファイル数：999
1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999
フォルダ階層数に制限はありませんが、フォ
ルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場
合は認識できません。

(3) 再生する順番について

- ディスク：
ライティングソフトで書き込まれた順
- USB 機器および SD カード：
ファイル名の昇順
ファイル名の頭に “01” ~ “99” など再生す
る順番を入力してから CD-R などに書き込むこ
とで再生する順番を設定することができます。
下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



(4) ご使用上の注意事項

ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
再生するディスクに多くのフォルダ、オーディ
オファイル、ビデオファイル以外のファイルを
書き込むと、再生するまで時間がかかることが
あります。また、ファイルサーチやフォルダサー
チがスムーズに行えない場合があります。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源ハーネスなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	—	画面の明るさを調整してください。 (⇒ P.14)
画面が見にくい。	見る角度によって画面の明るさ、色、画質が変わります。	画面の明るさ、視野角、映像の画質を調整してください。 (⇒ P.12、P.14、P.51)
バックモニターに切り替わらない。	バックモニター機能の設定が“OFF”になっている。	バックモニター機能の設定を“ON”にしてください。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	お買い上げの販売店にご相談ください。

● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに300か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。 (⇒ P.48)
経由地を設定できない。	すでに4か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。 (⇒ P.41)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。

症状	考えられる原因	対処方法
探索条件を変えてルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。 履歴に記憶されたのが最近の50か所よりも古い。	ルート探索していない場所は記憶されません。 履歴として記憶されるのは、50か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときに、実際と異なる道にマップマッチングされた。 タイヤを交換した。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。 タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。(→ P.84) 初期化してしばらくは自車位置がずれることがあります、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICS の地図表示情報（レベル3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。 — VICS局からの電波を受信できていない。	VICS の地図表示情報（レベル3）を表示できるのは、10m～1km（一般道は10m～500m、一般道の駐車場情報は10m～200m）のスケールです。 VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。 オートアンテナをしまっている場合は伸ばしてください。 自動選局に切り替えてください。(→ P.68)
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が“昼色に固定”に設定されている。	“自動”に設定してください。(→ P.74)
音声案内されない。	ルート案内音声出力が“OFF”に設定されている。	ルート案内音声出力を“ON”に設定してください。(→ P.73)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。 画面がオフになっている。	【現在地】を押して現在地画面に切り替えてください。(→ P.17) 【現在地】を押すか、画面にタッチしてください。(→ P.14)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音量を大きくしてください。(→ P.14)
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	接続が間違っている。	お買上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。

● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	▲を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置（約1時間）してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	▲を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。 (→ P.56)
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ／ファイル／階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。 (→ P.104)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。 (→ P.104)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—
ビデオファイルのサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが4GB以下のビデオファイルが再生できます。	—

● ワンセグ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしなおしてください。 (→ P.55)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—

症状	考えられる原因	対処方法
ワンセグ放送が受信できない。	車の場所が、ワンセグ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更（リバック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。（→ P.55）
	「ホーム」または「お出かけ」に登録されている放送局が、現在地周辺の放送局と合っていない。	初期スキャンをし直してください。（→ P.55）
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	見通しのいい場所に移動してください。

● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本機に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ● iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。 ● iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。
音が歪む。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB 延長ケーブルを使用しないで接続してください。
USB 機器や SD カード内のオーディオ / ビデオファイルが再生できない。	オーディオ / ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。（→ P.104）
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、＼、／、：、＊、？、”、＜、＞、। ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字（拡張子は除く） 全角 80 文字以内に変更してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ワンセグアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
車速パルスに異常があります。 接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 ● 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、 VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。 販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC カードが挿入されていません。 ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。
ETC カードが読みません。 ETC カードが読みません。(02)、(03)、(05)	<ul style="list-style-type: none"> ● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいにふいてから差し込んでください。 <p>問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>

メッセージ	対処
ETCがセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCをご利用できません。 ETCをご利用できません。(06)、(07)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。(→ P.104)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません。	音声が再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● AV(Disc)

メッセージ	対処
ディスクが読みません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。(→ P.56) または、お買い上げの販売店にご相談ください。

商標

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iTunes is a trademark of Apple Inc.

Lightning is a trademark of Apple Inc.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

まっぴるコードは株式会社昭文社の登録商標または商標です。



MapFanはインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

VICS は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。

Copyright © 2014 Ubiquitous Corp. All rights reserved.



本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



ETC は一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）の compact Wnn を使用しています。

compact Wnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2014 All Rights Reserved.

libFLAC

Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

主な仕様

● ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	GPS(+MSAS) & QZSS
受信周波数	1575.42MHz (C/A コード)
追従衛星数	最大 16
VICS	FM 多重 (内蔵)

● モニタ一部

画面サイズ (幅x高さx対角)	7.0V型ワイド (156.6 × 81.6 × 176.6 mm)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源 (照明方式)	LEDバックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W × 4
スピーカーイン ピーダンス	4 ~ 8 Ω

● ワンセグ部

受信方式	地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス (ワンセグ)
受信チャンネル	UHF13 ~ 52ch

● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz~99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz~1629kHz (9kHz)

● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0 (High Speed)
ファイルシステム	FAT16/FAT32
最大供給電流	DC5V --- 1A

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● CD 部

対応ディスク	CD-DA, CD-R/-RW, SACD (CD LAYER ONLY)
S/N 比	96dB
ダイナミックレンジ	94dB
ステレオセパレーション	90dB

● 対応メディア

CD-DA	8cmCD 非対応
CD	音声 MP3, WMA, AAC, FLAC, WAV, Vorbis
USB/ SD	音声 MP3, WMA, AAC, FLAC, WAV, Vorbis 映像 MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● 電源 / 尺法 / 重量

電源電圧	14.4V (10.5V ~ 16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10 ~ + 60°C
本体	外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行) 206mm × 104mm × 174mm 埋込寸法 (幅 × 高さ × 奥行) 178mm × 100mm × 159mm 質量 (重さ) 2,490 g
GPS アンテナ	外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行) 36mm × 12.8mm × 33mm ケーブル長 3.5m 質量 (重さ) 85g

● TV アンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長 (アンテナケーブル)	4.0m × 1
アンテナ部 (エレメント外形寸法)	117.5mm × 86mm
重量 (ケーブル含む)	約 40g

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.106) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。**

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

索引

数字

3モードカメラ 88

A

AV 画面 50

E

ECO 情報 70

ETC 車載器 86

G

GPS 84

I

iPod の接続 / 取り外し 61

S

SD カードを入れる / 出す 58

U

USB 機器の接続 / 取り外し 58

V

VICS 情報 65

あ

アスペクト (画面表示サイズ) 51

暗証番号の設定 83

案内音量 14

案内を開始する 32

案内を終了する 44

お

オートリルート 44

音声案内について 37

か

画質の調整 51

画面の明るさ 14

画面のオン / オフ 14

画面の操作 13

画面表示サイズ 51

け

経由地 40

経由地の削除 41

経由地の順番変更 40

現在地図画面 17

現在地の修正 74

検索履歴の削除 30

こ

交差点案内図の表示 38

高速道分岐イラストの表示 38

高速道路でのルート案内 36

交通情報 (TUNER) 53

さ

再生できるオーディオ / ビデオフォーマット 104

再生できるディスクメディア 102

サウンド設定 76

し

システム設定 81

自宅に帰る 23, 24

自宅の登録 23

シミュレーション 43

視野角 12

ジャンル検索 27, 28

住所検索 29

情報・設定 64

ショートカットボタン 16

初期スキャン 55

す

ステアリングスイッチ 82, 92

せ	マップクリップ 21	はじめに
セキュリティインジケーター 82		
設定 64		
センサー学習 84		
ま		
	メッセージ 110	
そ		
走行軌跡の消去 75		
走行軌跡を消去 75		
操作音の出力 82		
ソース切替画面 50		
ソースレベル 80		
も		基本操作
	目的地検索 24	
	目的地の削除 41	
	目的地付近の地図表示 44	
	文字の入力 49	
ち		
地図の縮尺 18		
地図表示の設定 74		
地点登録 45		
ゆ		
ユーザーイコライザー 79		
て		
ディスクの出し入れ 56		
デモ走行 43		
電源オン / オフ 12		
電話番号検索 31		
り		
履歴検索 30		
る		
ルート案内の開始 32		
ルート案内の終了 44		
ルートの再探索 39		
わ		
ワンセグを視聴する 54		
と		
登録地点検索 29		
登録地点の編集 46, 48		
な		
ナビ設定 72		
は		
バージョン情報 85		
ハイウェイモード画面 36		
バックモニター 88		
ふ		
フライビューマップ表示 72		
フロントパネルの角度調整 12		
ほ		
方面看板 73		
		ナビゲーション
		オーディオ・ビジュアル
		情報・設定
		オプション
		付録